

株式会社 千代

(東証プライム:6850)



2022年3月期
会社・決算説明資料

➤ 1. チノーグループの概要	P 2
➤ 2. チノーの強み	P10
➤ 3. 事業の概要	P13
➤ 4. 脱炭素社会の実現に向けて	P31
➤ 5. 決算概要	P40
➤ 6. 株主還元施策	P44
➤ 7. トピックス	P48
➤ <i>Appendix</i>	P50

》 1. チノーグループの概要

CHINO



会社概要

会社名	株式会社チノー CHINO CORPORATION
本社	東京都板橋区熊野町32-8
代表者	代表取締役 社長執行役員 豊田三喜男
事業内容	計測制御機器の製造・販売、計装工事
会社設立	1936年8月1日
株式	東京証券取引所 プライム市場
従業員数	連結：1,106名 単体：688名（2022年3月末現在）
グループ会社	12社（国内6社、海外6社）

当社の生産拠点・販売拠点・国内グループ会社

生産拠点 (3拠点)

藤岡事業所 久喜事業所 山形事業所

販売拠点 (3支店<18営業所>)

東日本支店 (9営業所・2出張所)
大阪支店 (6営業所・1分室)
名古屋支店 (3営業所)

国内グループ会社 (6社)

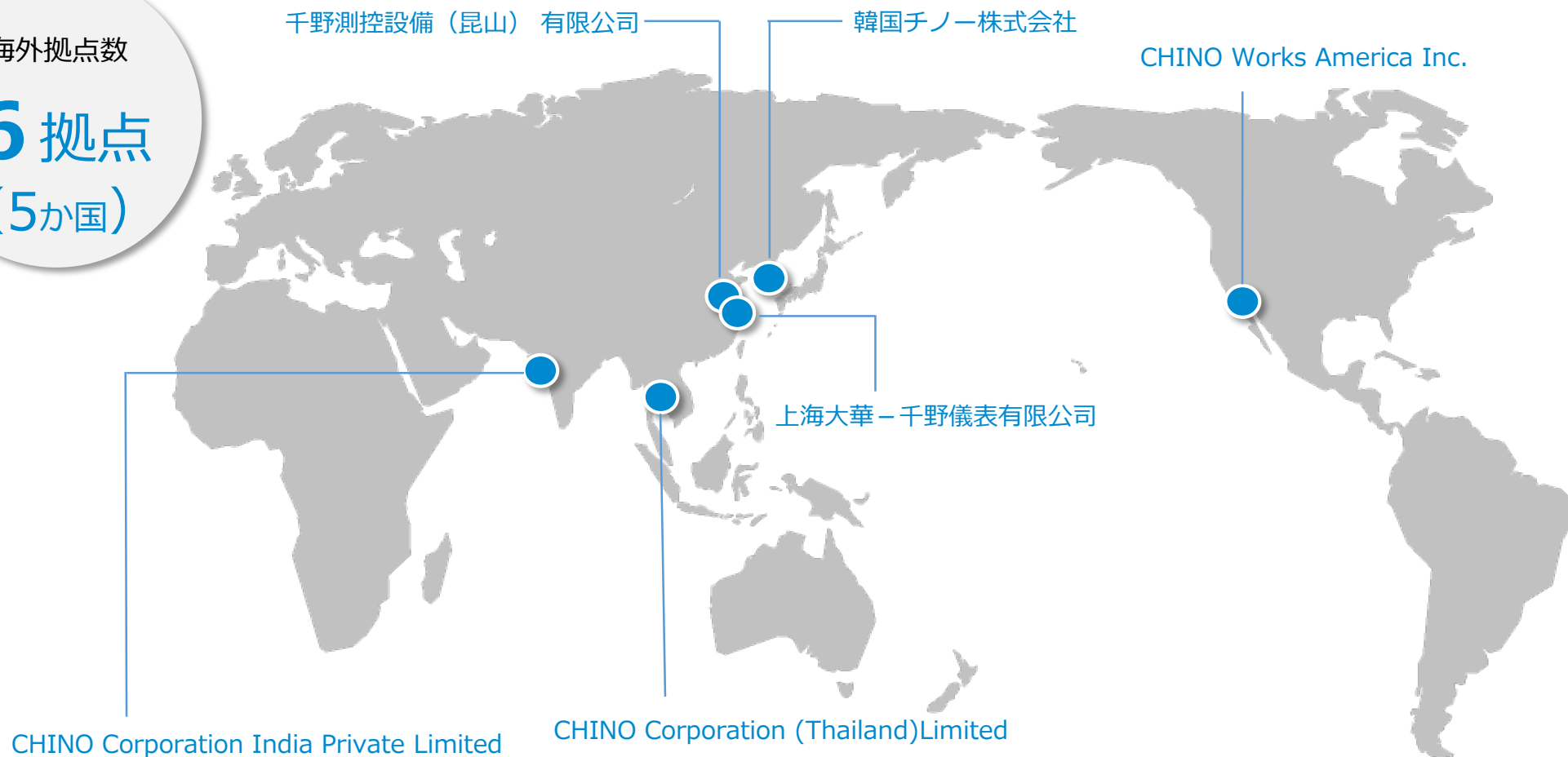
- ・ 株式会社チノーソフテックス
- ・ アーズ株式会社
- ・ 三基計装株式会社
- ・ アドバンス理工株式会社
- ・ 株式会社浅川レンズ製作所
- ・ 明陽電機株式会社

海外グループ会社（6社）

当社はグローバル展開を最重要課題の一つとして取り組んでいます。
顧客密着で現地ニーズに基づく製品を開発・生産して販売する“地産地消”を推進しています。

海外拠点数

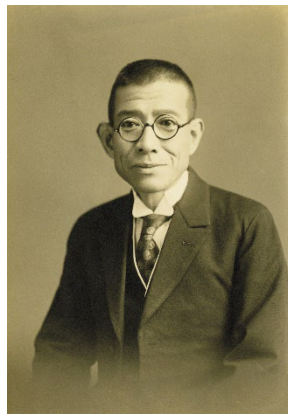
6 拠点
(5か国)



沿革



創業



創業者 千野一雄

(株)千野製作所
設立

東証
市場第2部上場

藤岡事業所
竣工



千野製作所

久喜事業所
竣工

東証
市場第1部へ
指定替え

創立50周年を機
に(株)チノーに
社名変更



チノー本社

本社・研究所
新社屋竣工、移転

(株)山形チノー
(現 山形事業所)
設立

藤岡事業所に生物
多様性保全をめざし
ビオトープ造成

創立80周年

明陽電機
の子会社化

東証
プライム市場
へ移行

企業理念

計測・制御・監視技術の限界に挑戦し、
産業の発展とより良い明日の社会の実現に貢献する

創立90周年(2026年)に向けた経営ビジョン



共創

環境の変化を捉えながらステークホルダーと共に新しい価値を創造します

特長

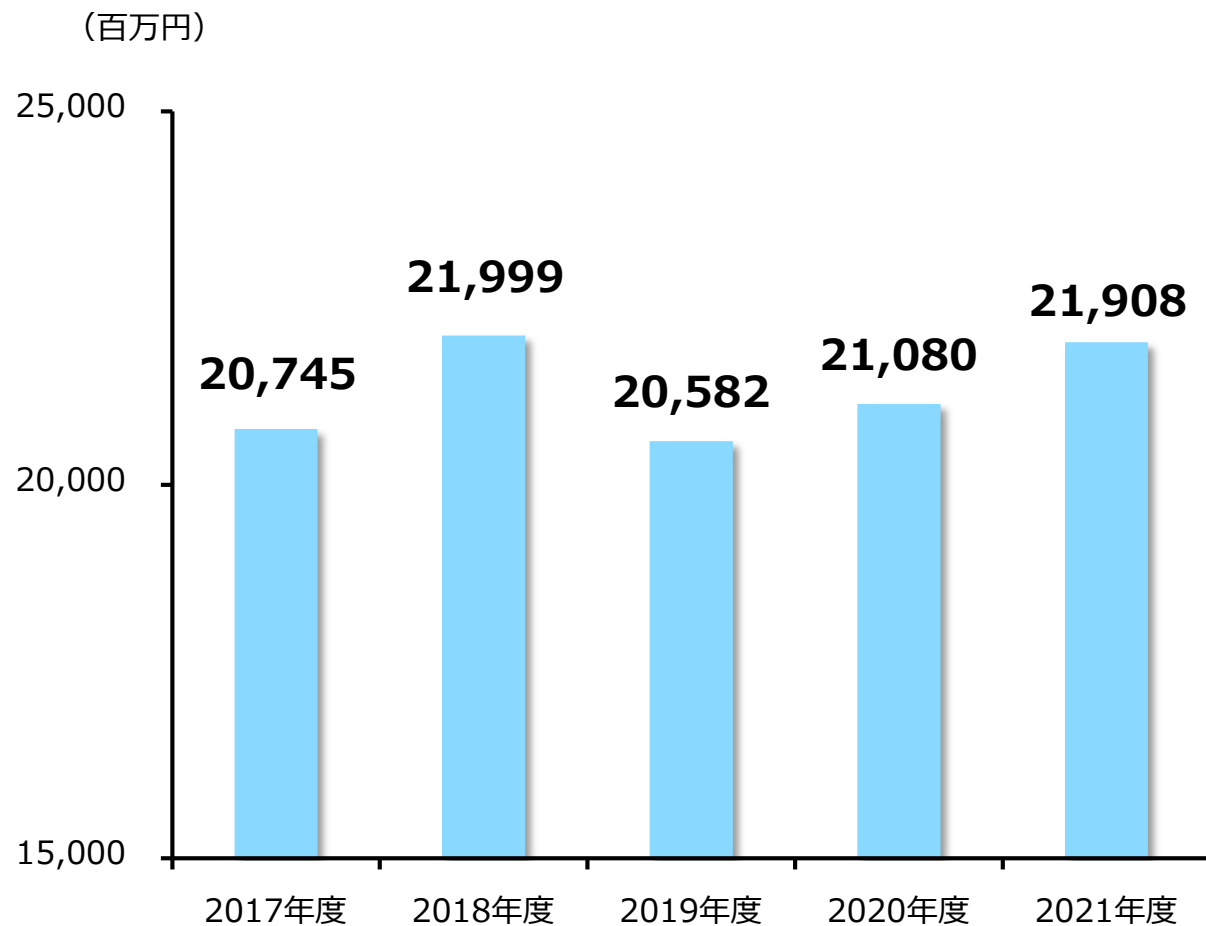
卓越した技術によるループソリューションでお客様に感動をお届けします

信頼

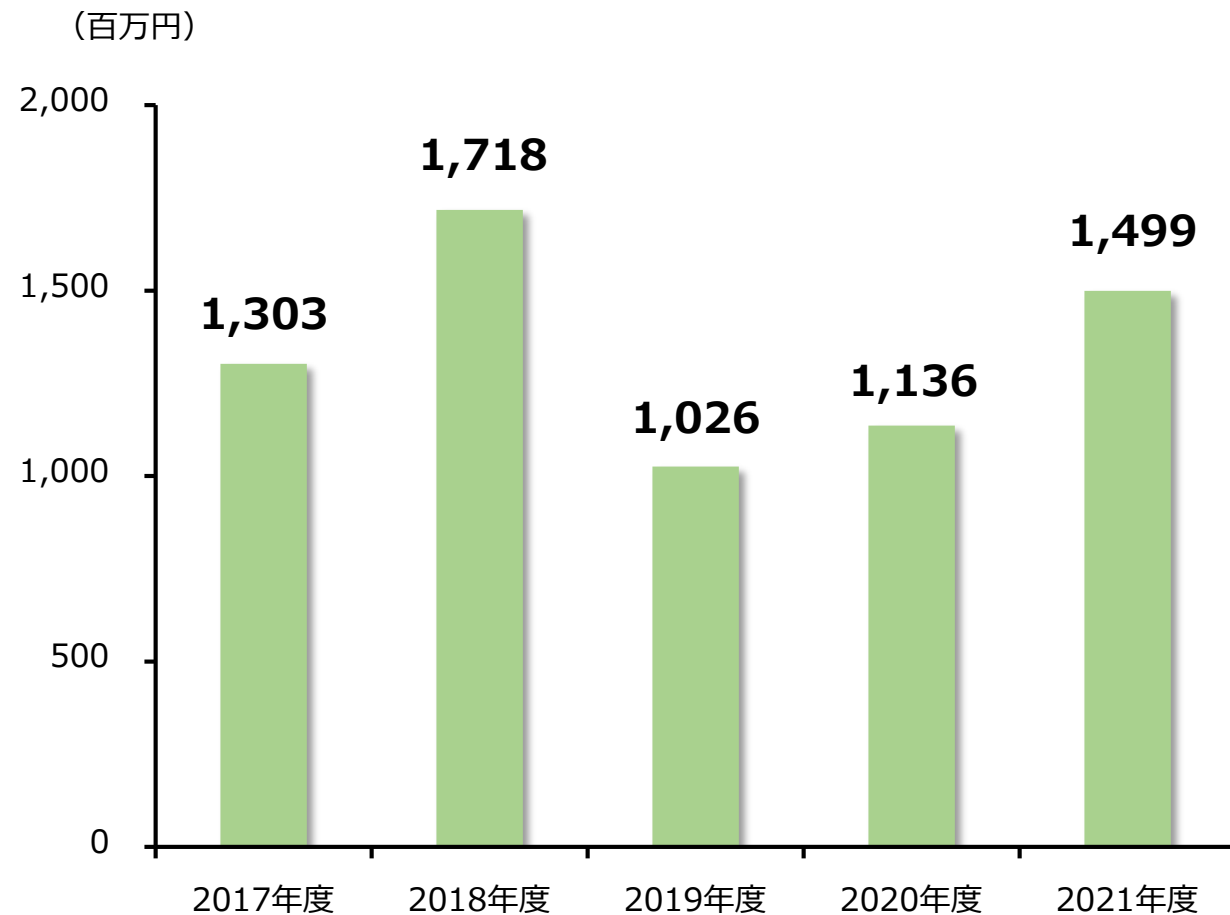
信頼の“絆”を強め 情熱とチームワークで未来に向かって成長し続けます

業績推移（売上高・営業利益）

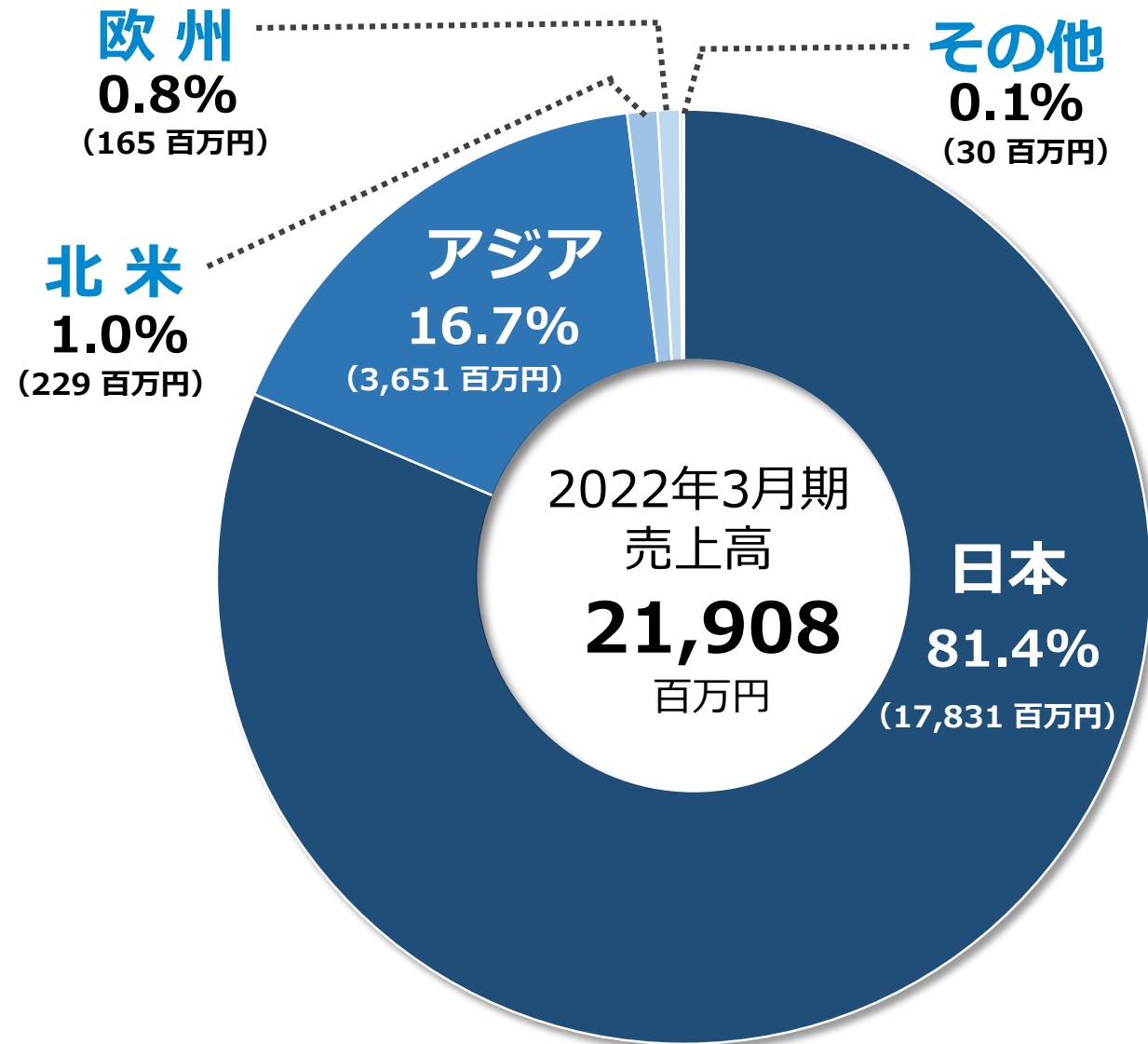
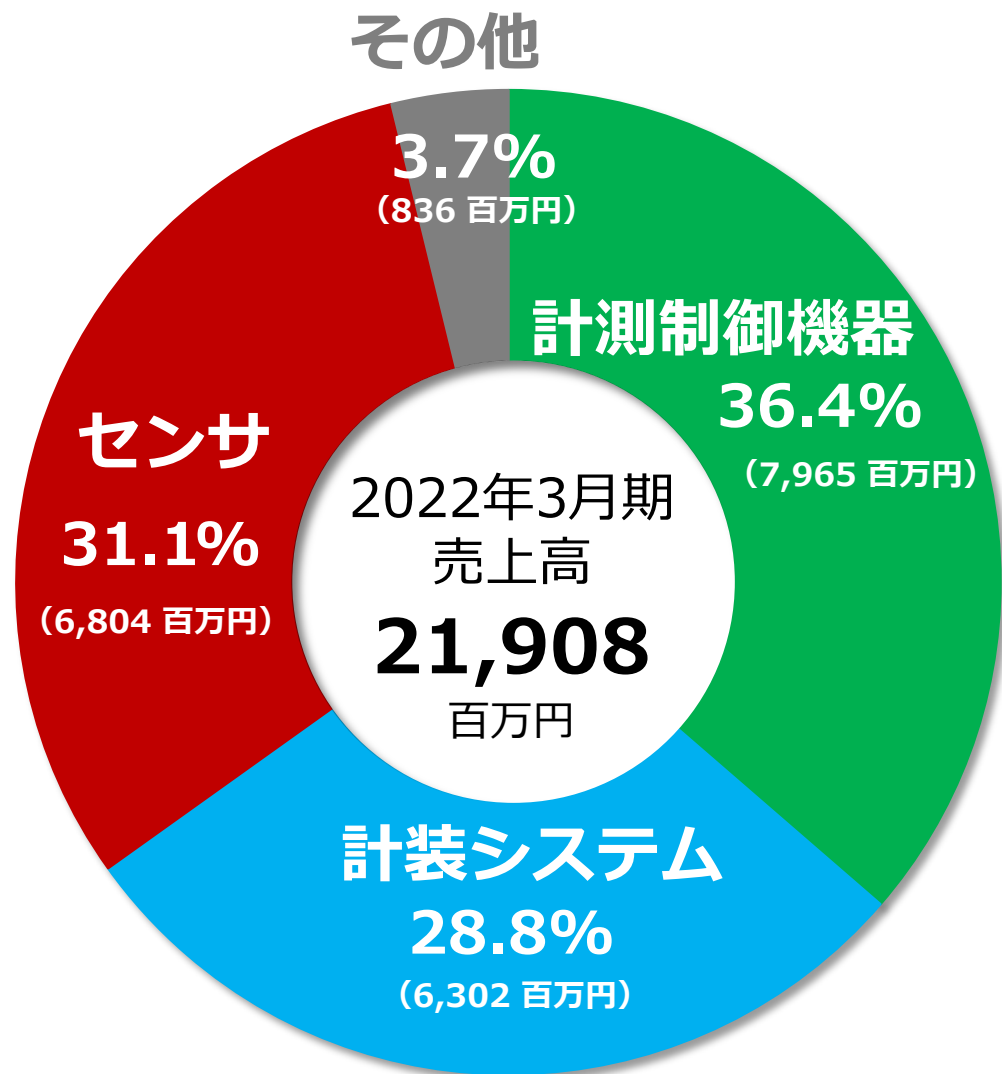
< 売上高 >



< 営業利益 >



セグメント別の売上高・地域別売上高



》2. チノーの強み

CHINO



温度ループ ソリューション

お客様に適した
温度ループソリューション
(計測・制御・監視の一元管理)
をワンストップ提供

放射温度計の 国内トップメーカー

物体の赤外線
のエネルギー量
を検知すること
で温度を計測

極低温から超高温 までの温度測定

-270℃から
3,500℃
までの温度を計測

世界22か国の国家標準機関が採用

お客様のセンサや自社生産したセンサの温度のズレや間違いを「**校正**」する事業を行っています。また、当社は国に認められた**計量法事業者登録制度（JCSS）の登録事業者**として、**国が発行する証明書と同等**の効力を持った証明書を発行することができます。



株式会社チノー標準技術部は、認定基準として ISO/IEC17025 を用い、認定スキームを ISO/IEC17011 に従って運営されている JCSS（計量法校正事業者登録制度）の下で認定されています。JCSS の認定機関である IAJapan は、アジア太平洋認定協力機構（APAC）及び国際試験所認定協力機構（ILAC）の相互承認に署名しています。0024 は当社標準技術部の登録番号です。

標準温度センサ



標準白金測温抵抗体／熱電対
R800／C800シリーズ



標準用放射温度計
IR-RSTシリーズ

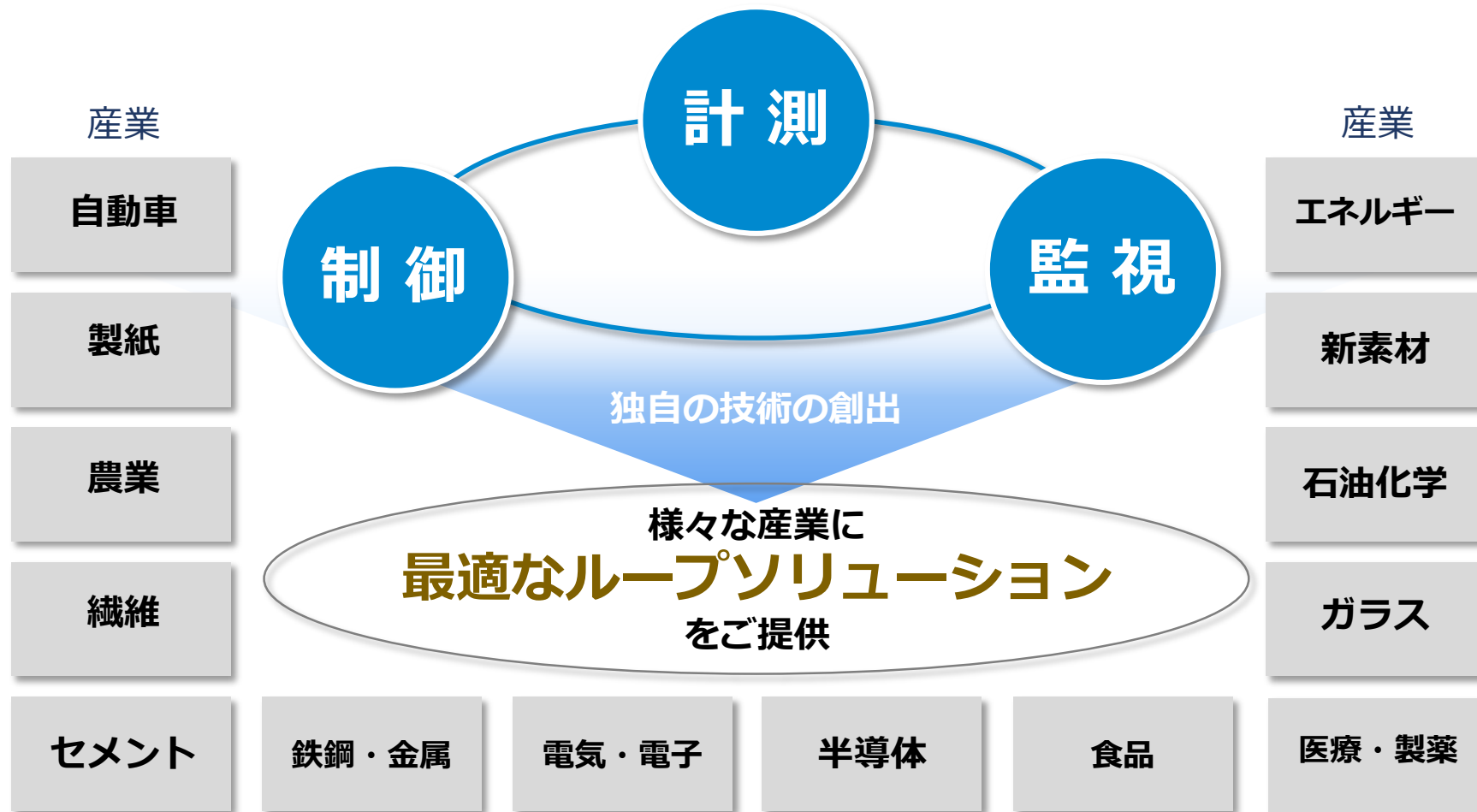
》 3. 事業の概要

CHINO



事業の特長 ループソリューションによる顧客価値の創造

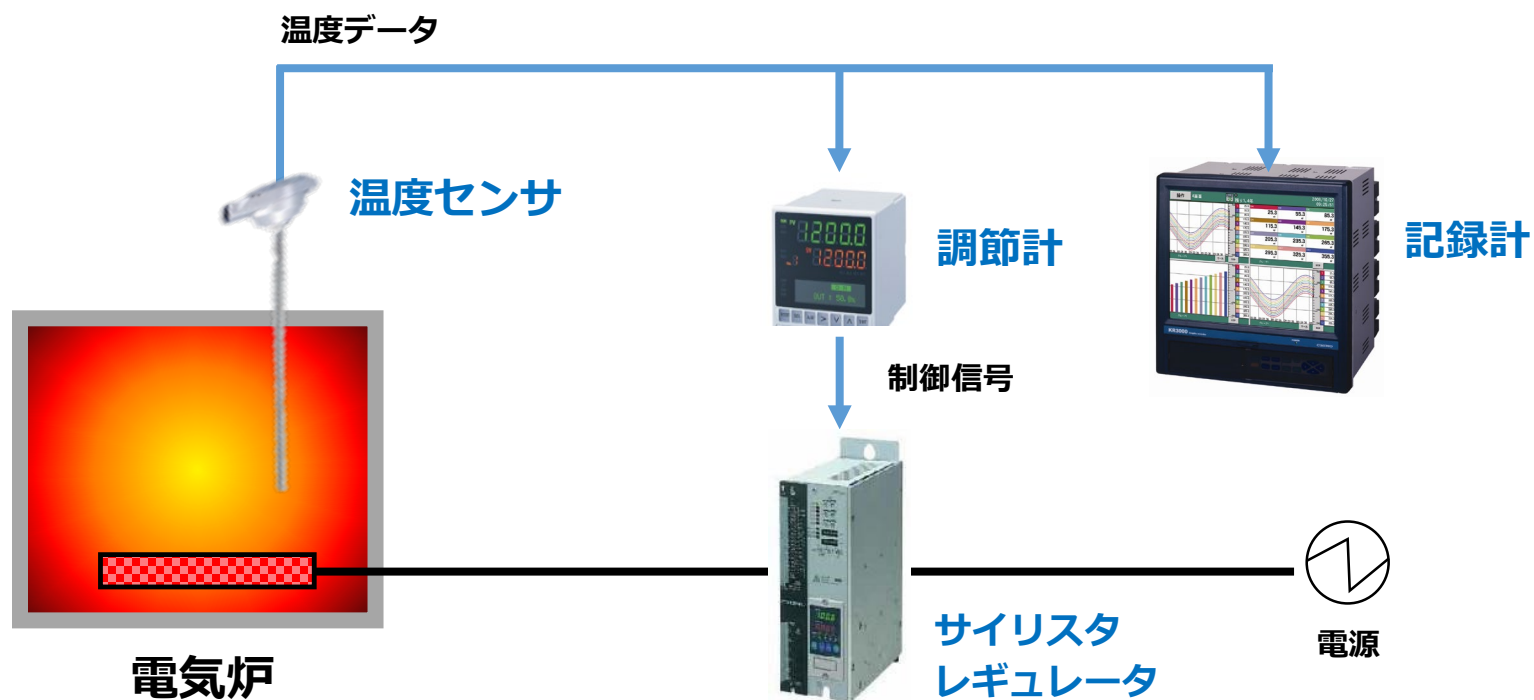
「温度のチノー」として、温度を軸として長年培ってきた
①計測の技術 ②制御の技術 ③監視の技術



温度ループソリューションとは

当社は、計測・制御・監視の機器を開発・製造しており、温度をはじめとする入口から出口までの製品を揃えています。
また、お客様に適した温度ループソリューション（計測・制御・監視の一元管理）を提供しています。

温度ループ
ソリューションの
流れ



産業別ソリューション

自動車 航空機

- ・ 航空機部品用熱処理設備管理支援
- ・ IATF-CQI9特殊熱処理支援装置
- ・ 部材加工データ一元管理システム
- ・ 熱処理炉運転管理IOTシステム

半導体 電子部品

- ・ パワー半導体単結晶成長温度計測
- ・ Si単結晶引上げ装置温度監視
- ・ Siウェハーケース用乾燥設備
- ・ 人工ダイヤモンド製造温度計測

鉄鋼 金属

- ・ 中低温度高精度化測定（低炭素化）
- ・ 新素材開発支援用特殊温度計測装置
- ・ アルミ低圧鋳造設備温度監視
- ・ 高機能鋼板コイル全面温度計測

食品

- ・ 食品安全管理支援用監視システム
- ・ HACCP支援BLE温度測定器
- ・ 原材料水分・油分等成分測定装置
- ・ 冷蔵冷凍庫内の温度・CO2監視

エネルギー

- ・ 水、アルカリ電解セル評価装置
- ・ 次世代燃料電池評価試験装置
- ・ P to C電解セル評価装置
- ・ バイオマス燃料温度監視装置

医療 医薬

- ・ 医薬品サプライチェーン温度監視
- ・ 医薬品倉庫温度マッピング
- ・ 再生医療 試料保管庫の温度管理
- ・ 血液センター環境監視システム

製紙

- ・ 情報紙塗工量測定
- ・ 紙基材上樹脂膜厚計測
- ・ 製紙水分プロファイル制御
- ・ ドライヤー制御

農業

- ・ 港湾穀物サイロの温度管理
- ・ カントリーエレベータの温度管理
- ・ 栽培ハウス育成環境総合制御装置
- ・ 栽培監視クラウドシステム

計測制御機器



記録計

調節計

サイリスタレギュレータ
(電力調整器)

ロガー

主な製品

記録計



温度を記録する

調節計



温度を制御する

サイリスタレギュレータ
(電力調整器)



電力を調整する

監視機能付き無線ロガー



温度をモニタリングする

<計装システム>

計装システム



評価試験

性能・耐久試験

集録・監視パッケージシステム

主な製品

燃料電池評価試験装置



水素・空気の流量、加湿器の温度制御を行い発電量を計測・記録・評価する。燃料電池の開発をサポート。

コンプレッサ性能試験装置



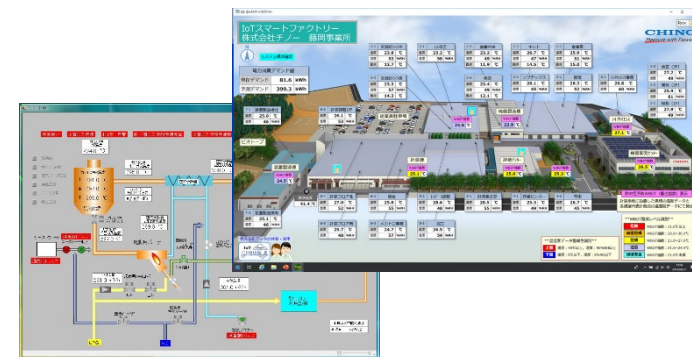
エアコン<自動車・家電>のコンプレッサ性能・耐久試験装置

水電解評価装置



水電解セル（水から水素を作り出す装置に使用）の評価試験装置

集録・監視システム
パッケージソフト



各種装置・設備などのデータをパソコンで集録・監視を行うシステム

センサ



温度

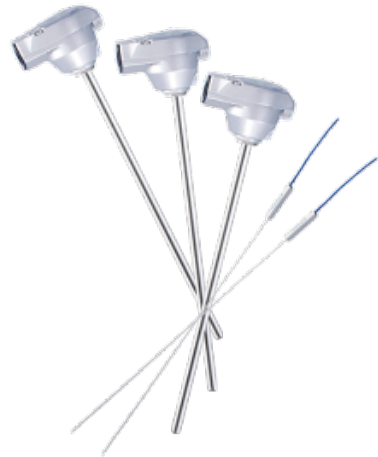
湿度

成分・水分・厚さ計測

温度校正

主な製品

高温用シーす熱電対



接触形温度センサ

放射温度計



赤外線技術を応用した
非接触形温度センサ

熱画像計測装置

赤外線多成分計



赤外線技術による
計測器 <水分・フィルム
ム厚さ・塗工厚さ>

温度校正装置



温度センサの温度誤差
を点検する装置

放射温度計

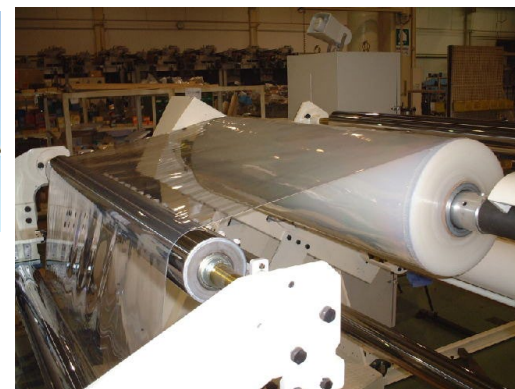
熱間圧延における加熱温度が
均一かどうかをチェック



鉄鋼所

成分計・水分計・厚さ計

フィルムや製紙の厚みをチェック



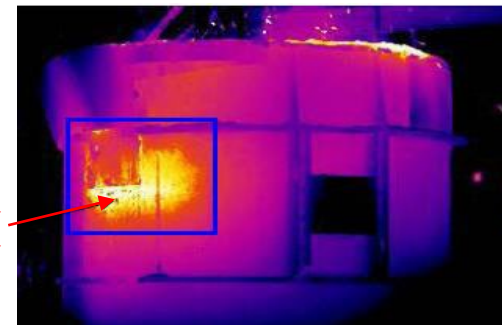
フィルムメーカー

サーモグラフィー

取鍋の損傷・磨耗による
溶鋼流出事故を未然に防ぐ



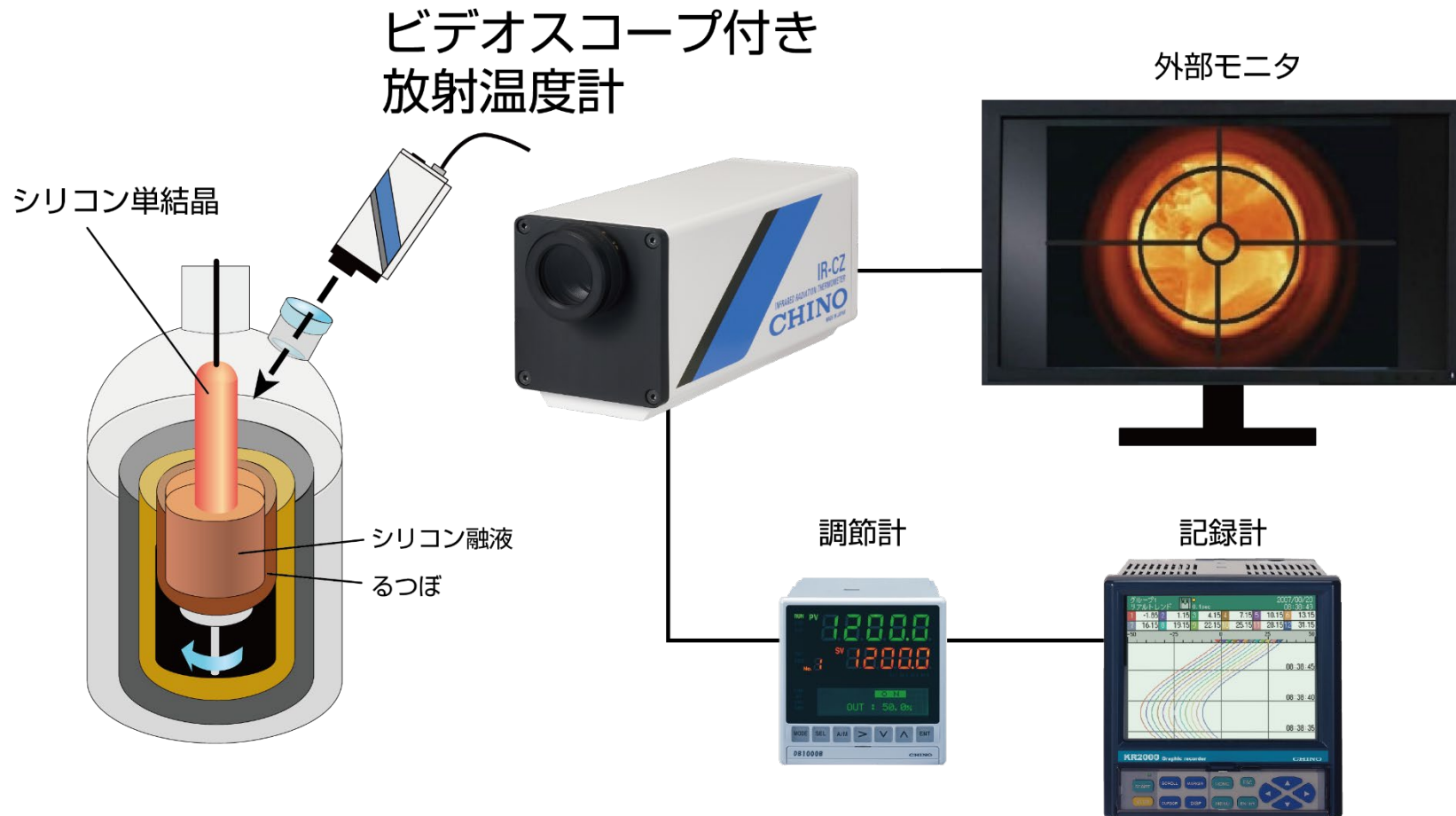
ホット
スポット



溶鋳炉

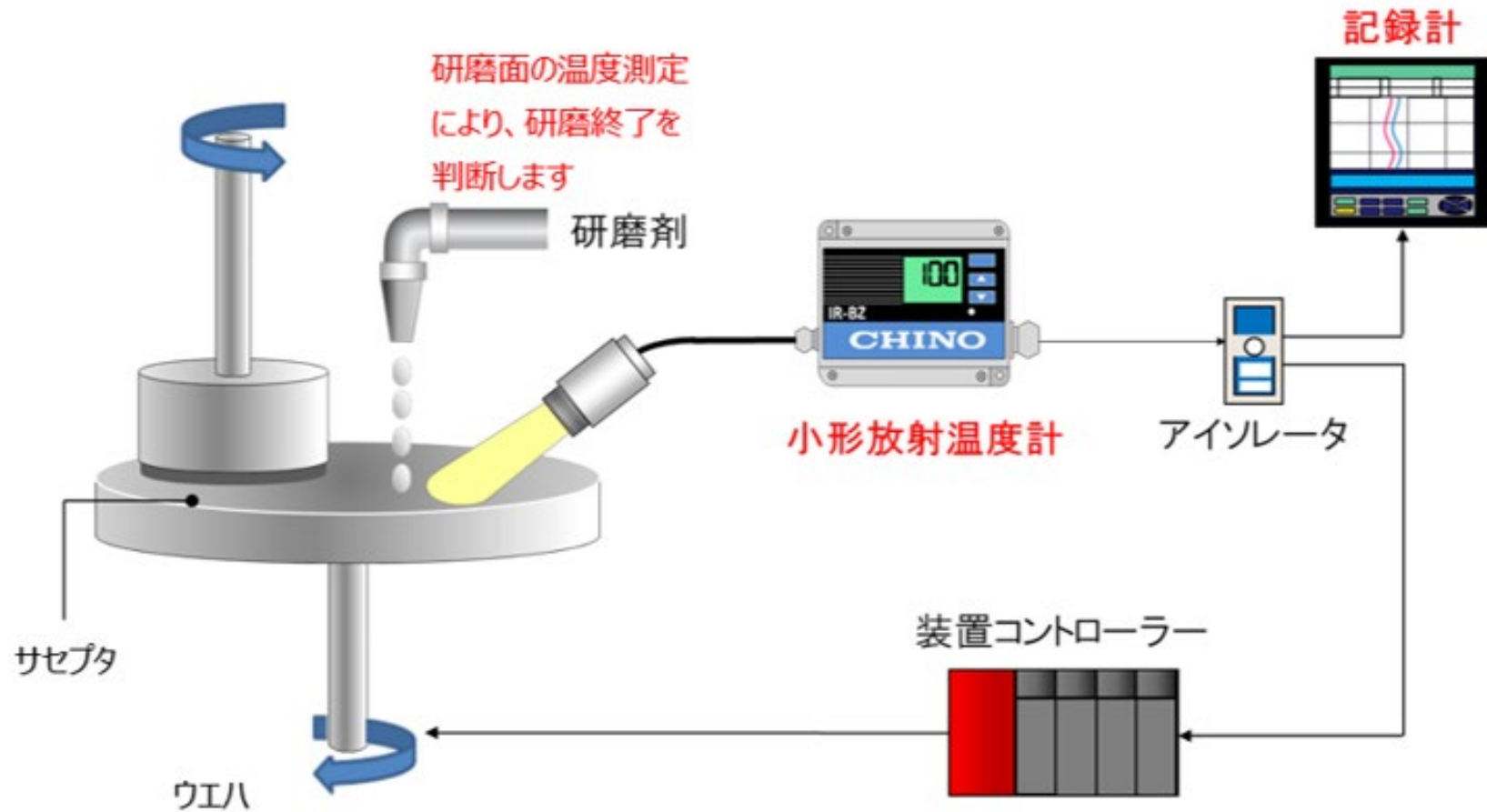
半導体関連（製造プロセスの温度管理）①

厳密な温度制御を要する超高純度単結晶シリコンの製造において、当社の「計測・制御・監視」技術が貢献しています。



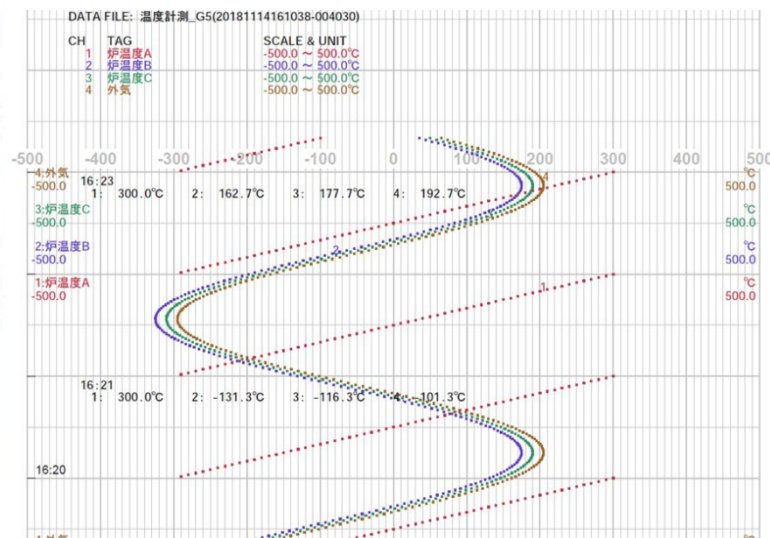
半導体関連（製造プロセスの温度管理）②

半導体デバイスの土台である、シリコンウェハの研磨工程においても当社の温度計測技術が貢献しています。



航空機・自動車関連（金属熱処理温度管理）

航空宇宙産業、自動車産業のサプライヤーに求められる熱処理工程の規格への対応を支援しています。



Nadcap/AMS2750F,G

航空宇宙産業における特殊工程（溶接・熱処理など）の規格。サプライヤーは2022年6月までに対応が必要

IATF 16949/CQI-9

自動車部品メーカーに対する熱処理工程評価の規格。サプライヤーは2023年6月までに対応が必要

AMS 2750F / IATF 16949支援機能付き記録計

DX関連（製造現場の遠隔監視）

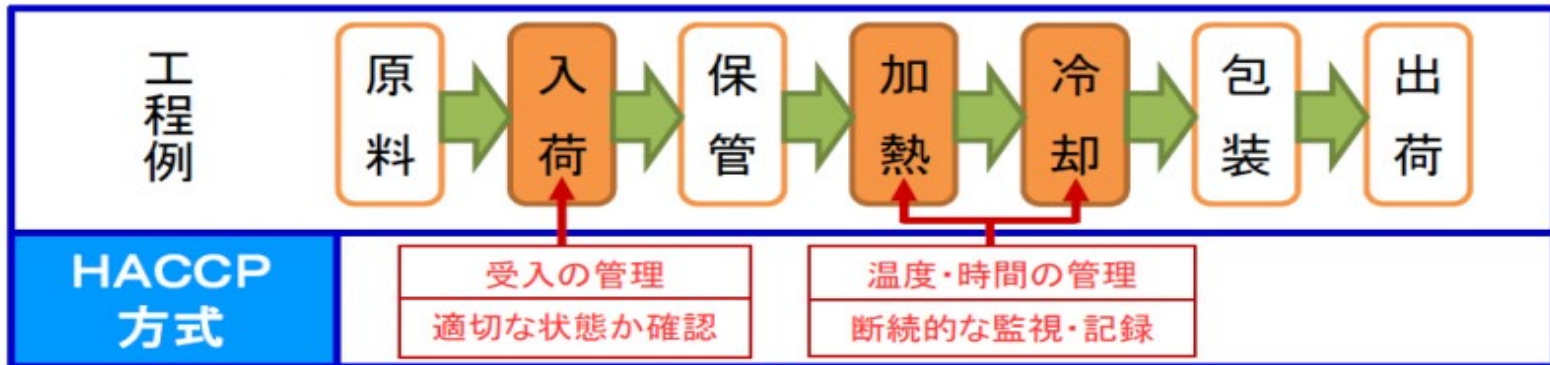
製造現場のデジタル化を集中監視システムで支援しています。



監視機能付き無線ロガー MD8000

食品関連（HACCP <ハサップ> への対応）

HACCP（食品の原材料から最終製品までの各工程ごとに監視・記録する工程管理・衛生管理の手法）への対応で当社の「計測・監視」技術が貢献しています。



食材入荷

積荷温度記録
適温配送



- 防滴形温度カードロガー MR5300
- 温湿度カードロガー MR6662

受け入れ

受け入れ、品温確認

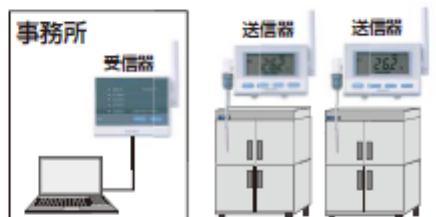


適切な保存温度で納品されたかを確認

- 放射温度計 IR-TE2

保存・貯蔵

保存庫温度・湿度の管理、記録



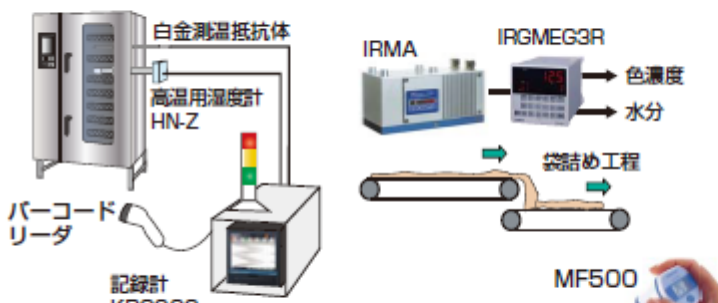
データ送信、一元管理

- 無線温度・湿度ロガー MD8000

加工・調理

加工・調理の温度管理は重要管理点(CCP*)です!
※Critical Control Point

工程各部温度の継続的な記録



- 食品用中心温度計 MF500/MF1000
- 記録計 AL4000/KR2S00
- 高温用湿度計 HN-Z
- 赤外線多成分計 IRMA

製品出荷

適温配送



消費者

安心・安全



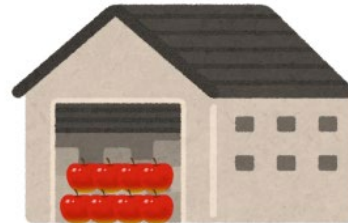
食品関連（フードロス対応）

青果物の貯蔵施設では、庫内の環境管理としてエチレン(※)ガス濃度を制御して、青果物の追熟調整を行うことが重要です。エチレンセンサは、エチレンガスの濃度調整（ガスの除去や供給）に、エチレンガス濃度を常時モニタリングできます。



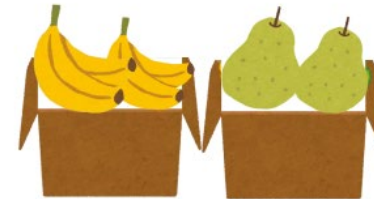
エチレンセンサ

用途事例①



リンゴなど果物貯蔵施設内の
貯蔵環境制御(鮮度維持)

用途事例②

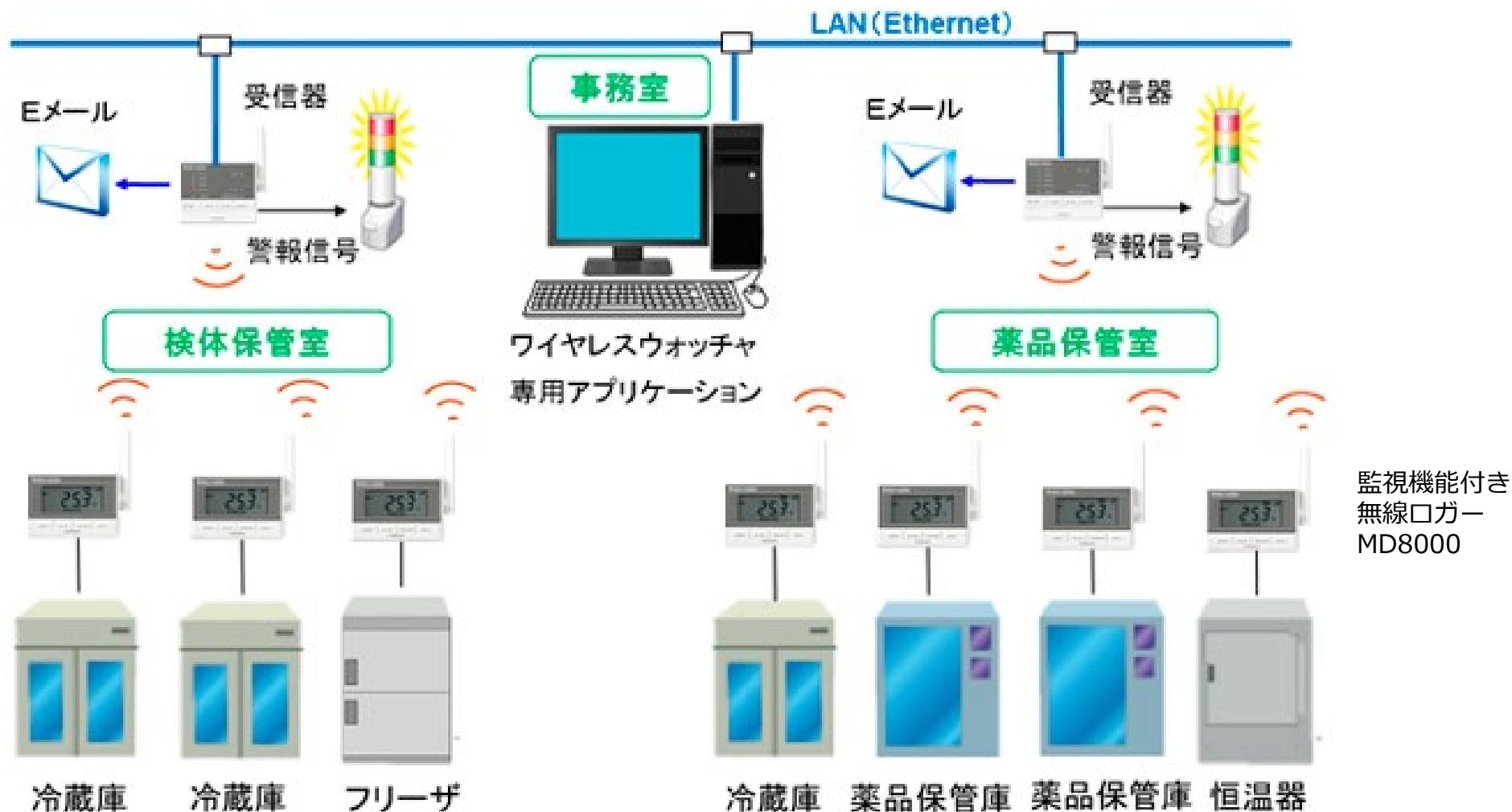


バナナやラフランスなどの
追熟スピード調整, 食べ頃調整

※エチレン…おもに野菜や果物から発生する植物ホルモンの1つ。
野菜や果物の熟成, 老化を促進させる。

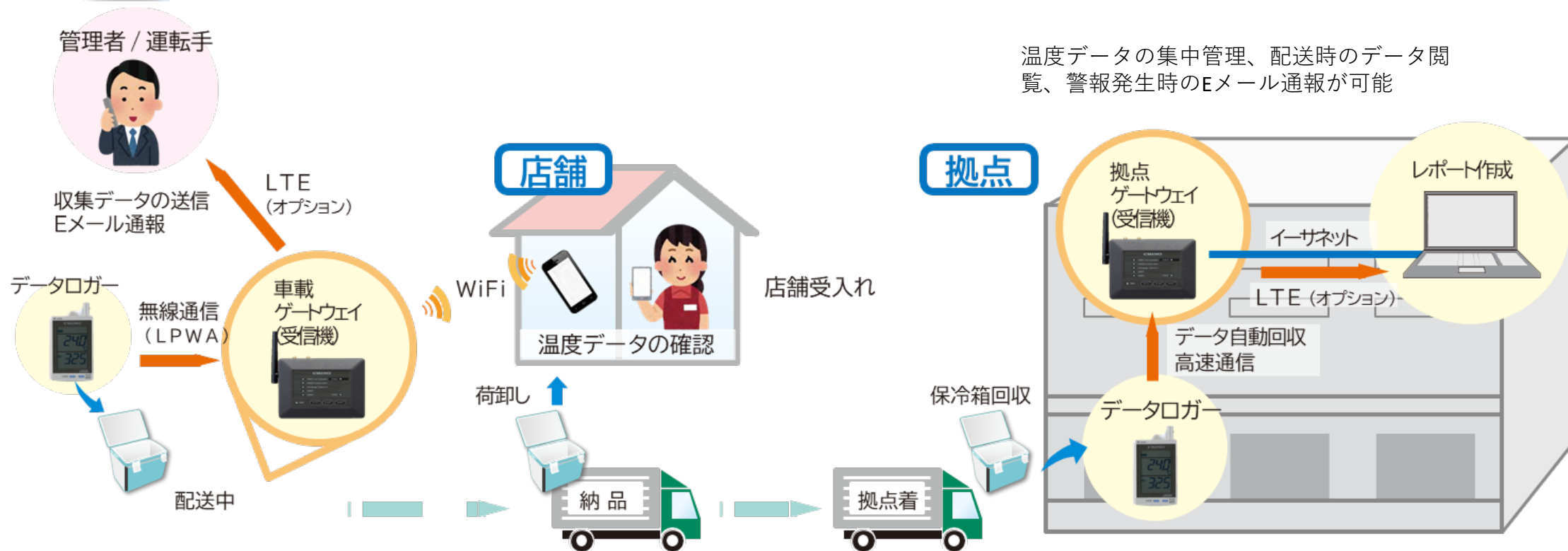
医薬品関連（保冷库の温度管理）

「温度管理・監視システム」は、ワクチンの安全保管に貢献しています。



医薬品関連（物流のリアルタイム温度監視）

医療・医薬環境の安全性向上に貢献しています。



コロナ関連 (3密チェック)

目に見えないCO₂濃度を計測し、所定の濃度を越えたときにお知らせします。
事務所・会議室・教室・カフェ・飲食店など人が集まる場所に簡単に取り付けられます。

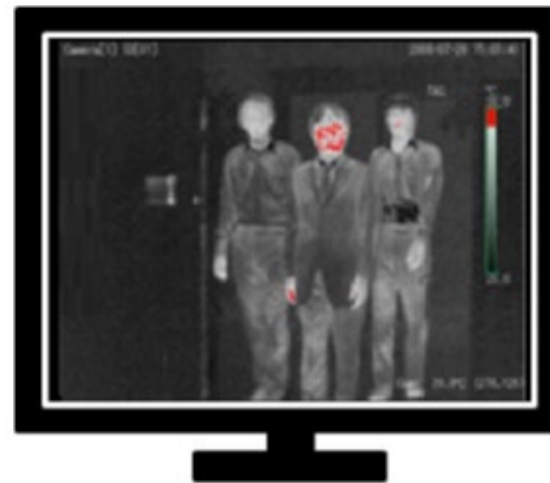
換気お知らせセット MA1102-00#79



換気環境監視モニタ

コロナ関連（発熱者の早期発見）

当社の熱画像（サーモグラフィ）カメラが発熱者の早期発見に役立っています。



ThermoView
公共施設常設型 赤外線サーモグラフィ

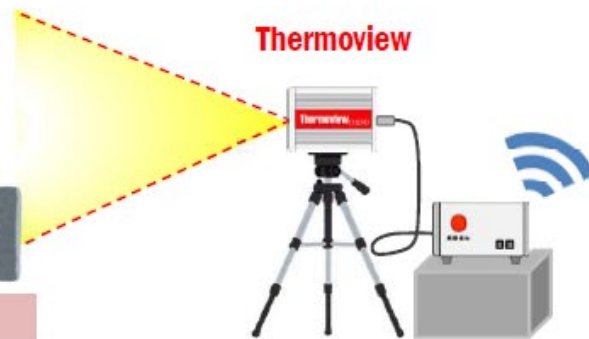


セキュリティゲートとの連動

OK




NG

警備室

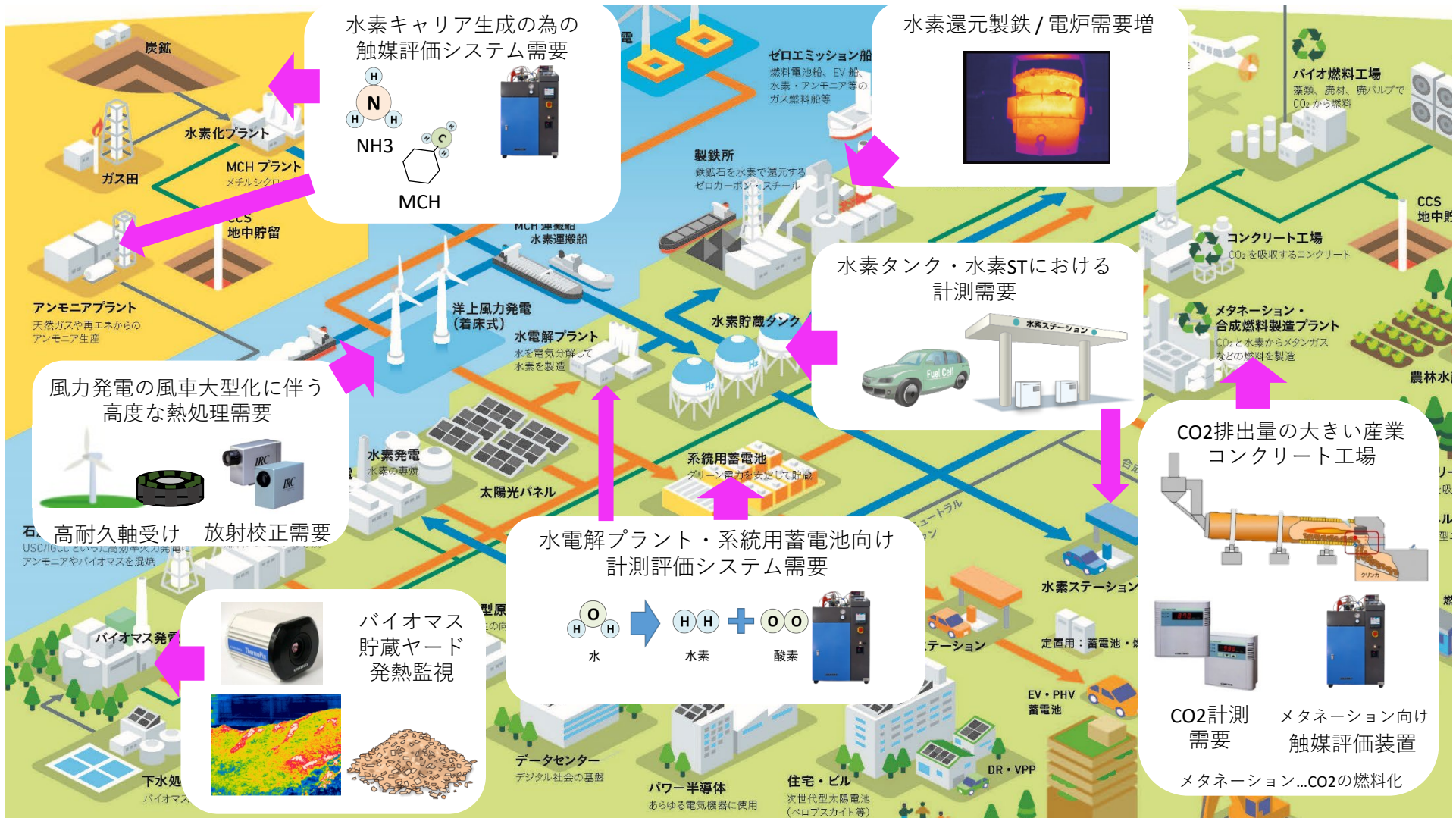


➤ 4. 脱炭素社会の実現に向けて

CHINO



取り組みの全体像



経済産業省の元図に加図

水素社会実現に貢献

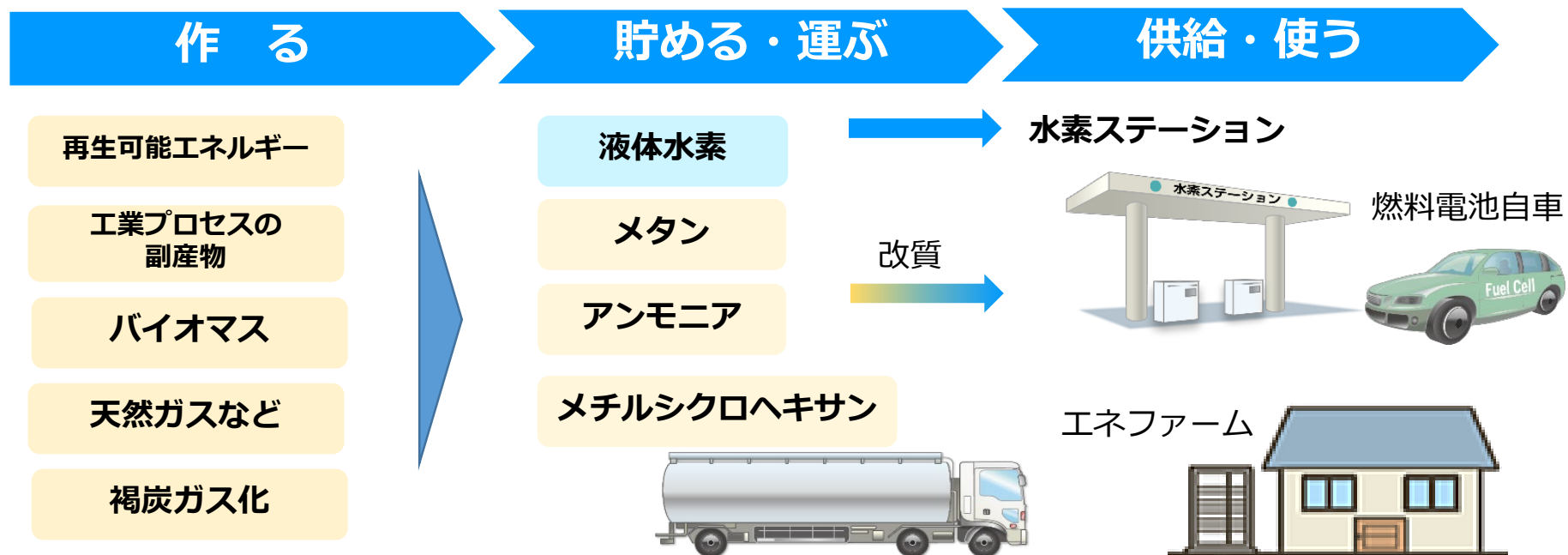
持続可能な社会を実現する水素エネルギー

水素は利用段階ではCO₂を排出しないエネルギー源であり、電力・産業・運輸などの産業分野での低炭素化に向けて活用が期待されています。水素はさまざまな資源から作り出すことができ、地球温暖化ガスを発生させないエネルギー源として世界的に水素サプライチェーンの開発が進んでいます。

水素サプライチェーンの構築

水素エネルギーを活用して持続可能な社会を実現するために、水素の製造、輸送、貯蔵、利用まで一貫したサプライチェーン開発の取り組みが行われています。

チノーは各種評価試験装置、センシング技術などをご提供しております。

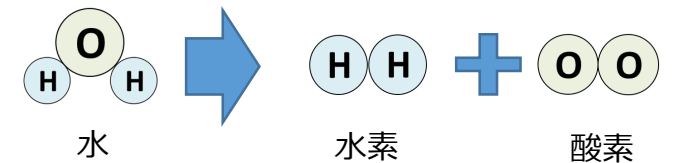
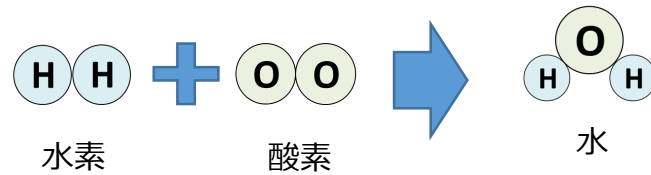


水素社会実現に貢献（水素を「作る・使う」：評価装置）

水素社会実現に向けて「**作る**」 & 「**使う**」システムの評価装置を提供しています。

◆燃料電池評価試験装置 水素を「**使う**」：燃料電池

◆水電解評価装置 水素を「**作る**」：水の電気分解



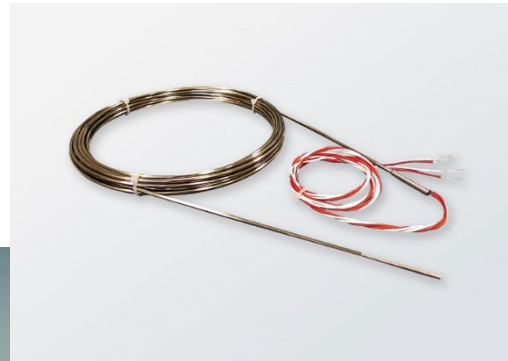
- ✓ 燃料電池自動車（FCV）や家庭用燃料電池（エネファーム）等が効率よく電気を起こしているかを評価する装置
- ✓ 自動車メーカーやガス会社、家電メーカー等の研究開発で利用



- ✓ 水を水素と酸素に電気分解して、効率よく水素を取り出せるかを評価する装置
- ✓ 約30年前から開発を続けている「燃料電池評価試験装置」で培った技術を応用

水素関連製品 液体水素輸送船向け温度センサ

水素を運ぶ



液体水素用測温抵抗体

概要

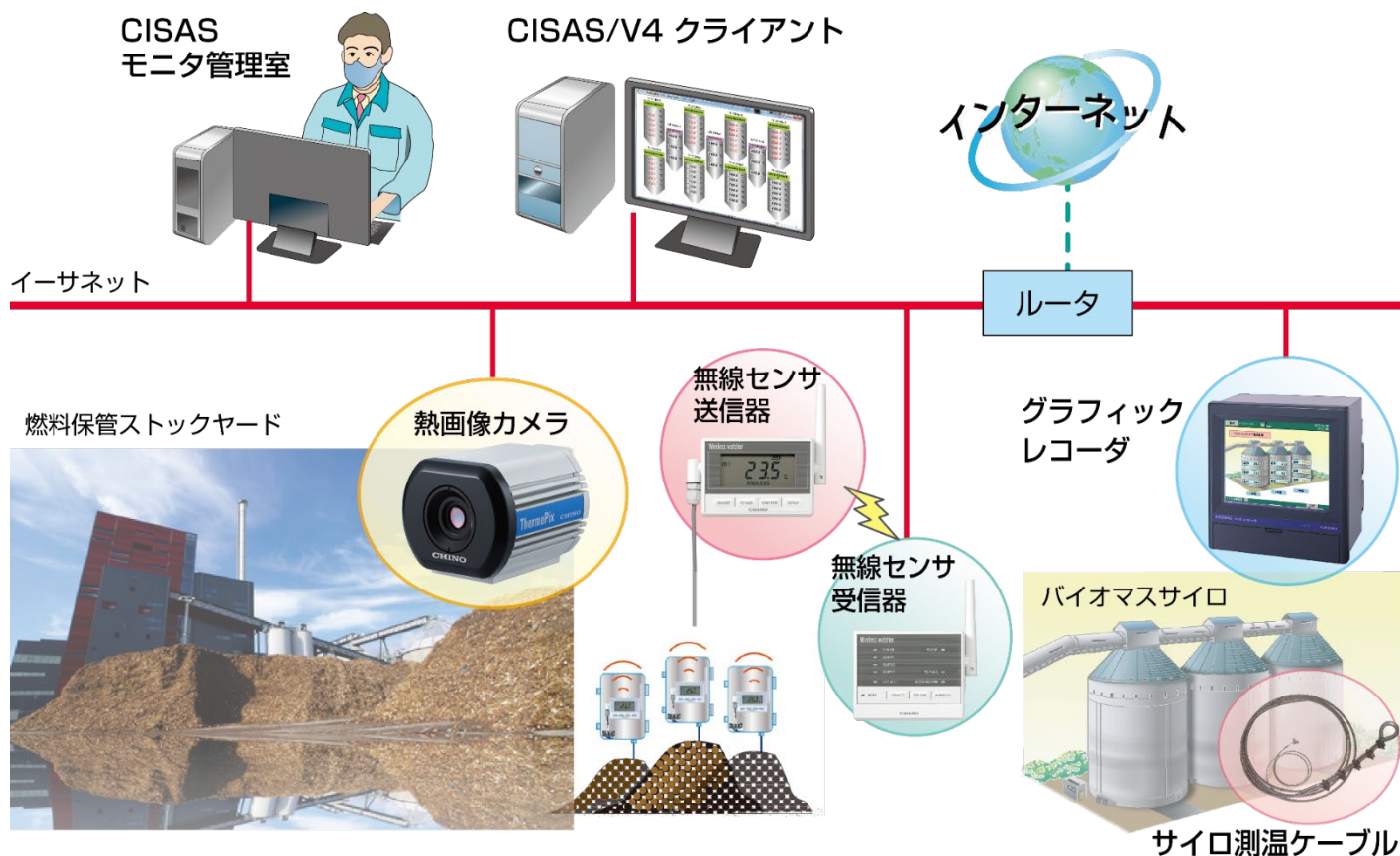
- ・液体水素輸送船向け超低温温度センサー
- ・長時間、大きな揺れが続く海上で計測しにくかった -253°C の温度を正確に計測
- ・海外から水素を日本に運搬する船に搭載

特徴

- ・LH2タンク内の液体水素 (-253°C) に直接接触して温度測定可能
- ・貼り付けタイプ製品（固定しにくい場所に使用）

脱炭素社会実現に貢献（バイオマス発電：温度監視）

木質ペレットや木質チップ等、バイオマス発電に欠かせない燃料の保管ストックヤードやサイロ（貯蔵庫）の温度を監視することができます。



当社の取組み<太陽光パネルの導入・運用>

<山形事業所>

2013年運用開始

システム容量 732kW



<藤岡事業所>

2014年運用開始

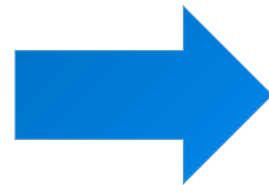
システム容量 40kW



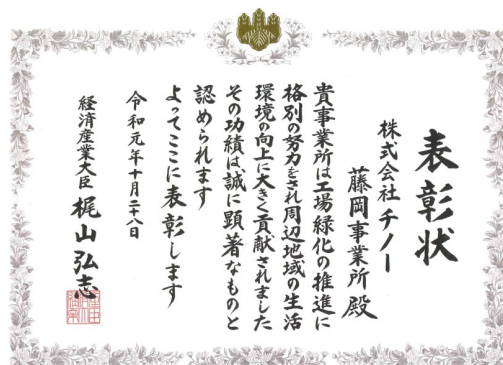
年間約260tのCO₂排出削減に貢献

チノービオトープフォレストの開設 (2011年～)

ヤリタナゴを初めとする希少生物の保護に取り組んでいる



年間約1tのCO₂を吸収



2013年11月 「緑化優良工場等日本緑化センター会長賞」を受賞

2014年 8月 「関東水と緑のネットワーク拠点百選」に選定

2016年10月 「緑化優良工場等関東経済産業局長賞」を受賞

2018年 9月 「環境教育等における体験の機会の場」に認定

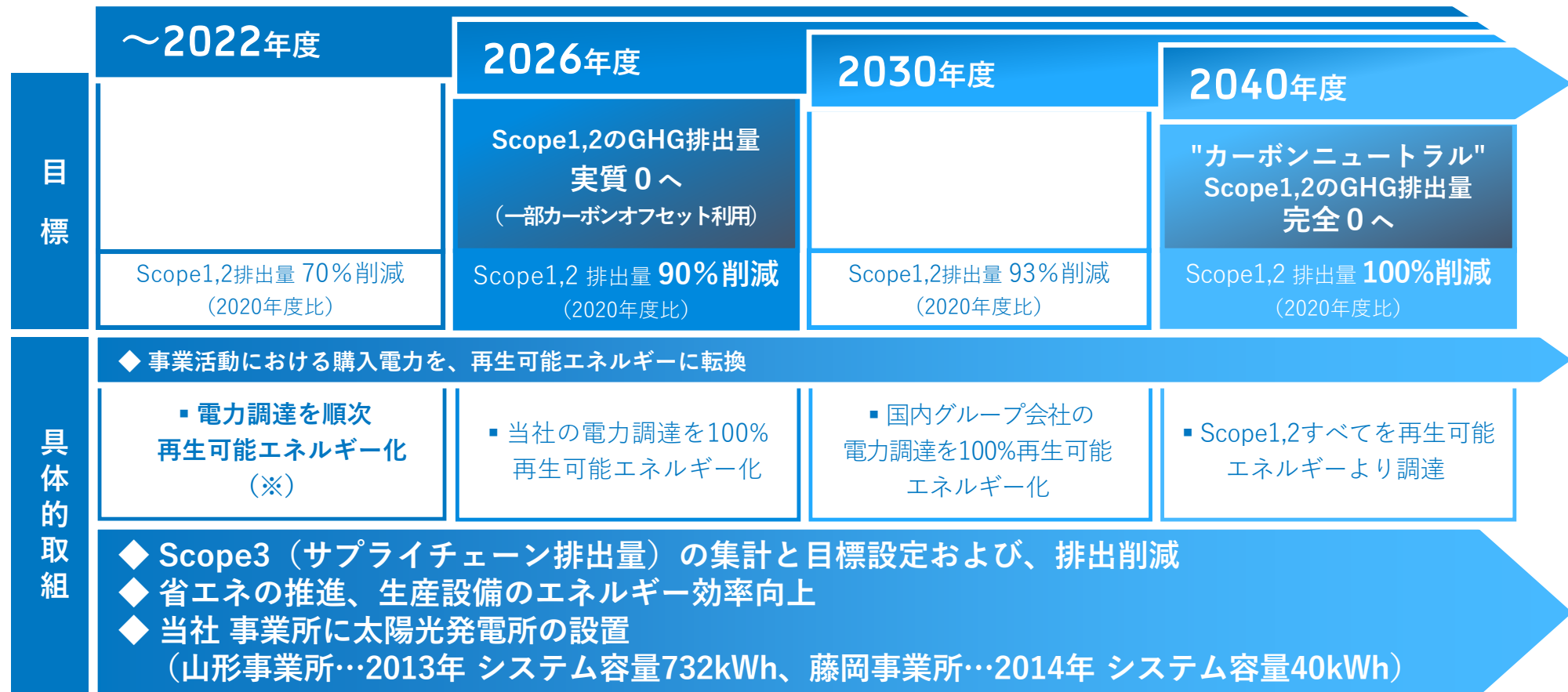
2019年10月 「全国みどりの工場大賞経済産業大臣賞」を受賞

当社の気候変動リスクへの対応

■ TCFD提言への賛同

2022年5月に当社グループは気候変動関連情報開示の重要性を踏まえてTCFD提言への賛同を表明
 今後、これを契機に気候変動がもたらす事業へのリスクと機会についての分析と対応を一層強化してまいります。

■ 事業活動のカーボンニュートラルに向けたロードマップ^o ●2020年度 排出実績値 [Scope1 : 261t-CO2] [Scope2 : 2,449t-CO2]



(※) ～2021年11月 山形・久喜・本社 (完了)、2022年 7月 藤岡事業所 (完了)

➤ 5. 決算概要

CHINO



決算ハイライト

2022年3月期 連結業績

受注高	25,557百万円	前期比	24.3%増	
売上高	21,908百万円	前期比	3.9%増	

自動車・電子部品分野等で設備投資の回復基調維持により増収。また、脱炭素関連として燃料電池評価試験装置や水素のエネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置の需要が拡大

<利益面>

営業利益	1,499百万円	前期比	32.0%増	
経常利益	1,744百万円	前期比	35.9%増	
当期純利益 (親会社株主に帰属)	1,050百万円	前期比	18.5%減	

- ・ 営業利益・経常利益 : 売上高増加や原価率の低減等により増益
- ・ 当期純利益 : 前年同期に明陽電機(株)の連結子会社化に伴う特別利益 (負ののれん発生益557百万円) を計上したことによる反動減により減益

セグメント別業績

(百万円)

	受注高				売上高				セグメント利益			
	FY2020	FY2021	増減	増減比 (%)	FY2020	FY2021	増減	増減比 (%)	FY2020	FY2021	増減	増減比 (%)
計測制御機器	6,705	8,669	1,963	29.3	6,923	7,965	1,042	15.1	888	1,168	280	31.6
計装システム	6,662	9,156	2,494	37.4	6,752	6,302	▲ 449	▲ 6.7	592	481	▲ 110	▲ 18.7
センサ	6,540	7,077	537	8.2	6,560	6,804	243	3.7	1,138	1,304	166	14.6
その他	645	654	9	1.4	844	836	▲ 8	▲ 1.0	152	194	41	27.3
全社費用									▲ 1,635	▲ 1,649	▲ 14	—
合計	20,553	25,557	5,004	24.3	21,080	21,908	828	3.9	1,136	1,499	363	32.0

FY2022の業績予想

- 主要顧客（自動車・電子部品関連分野）の需要、脱炭素社会に向けての水素関連分野の需要は今後も継続が見込まれるものの、一方で部材の供給不足（半導体など）、コスト増加影響の解消は不透明であり、売上高233億円（前期比6.3%）、営業利益15.5億円（同3.4%）の予想

（百万円）

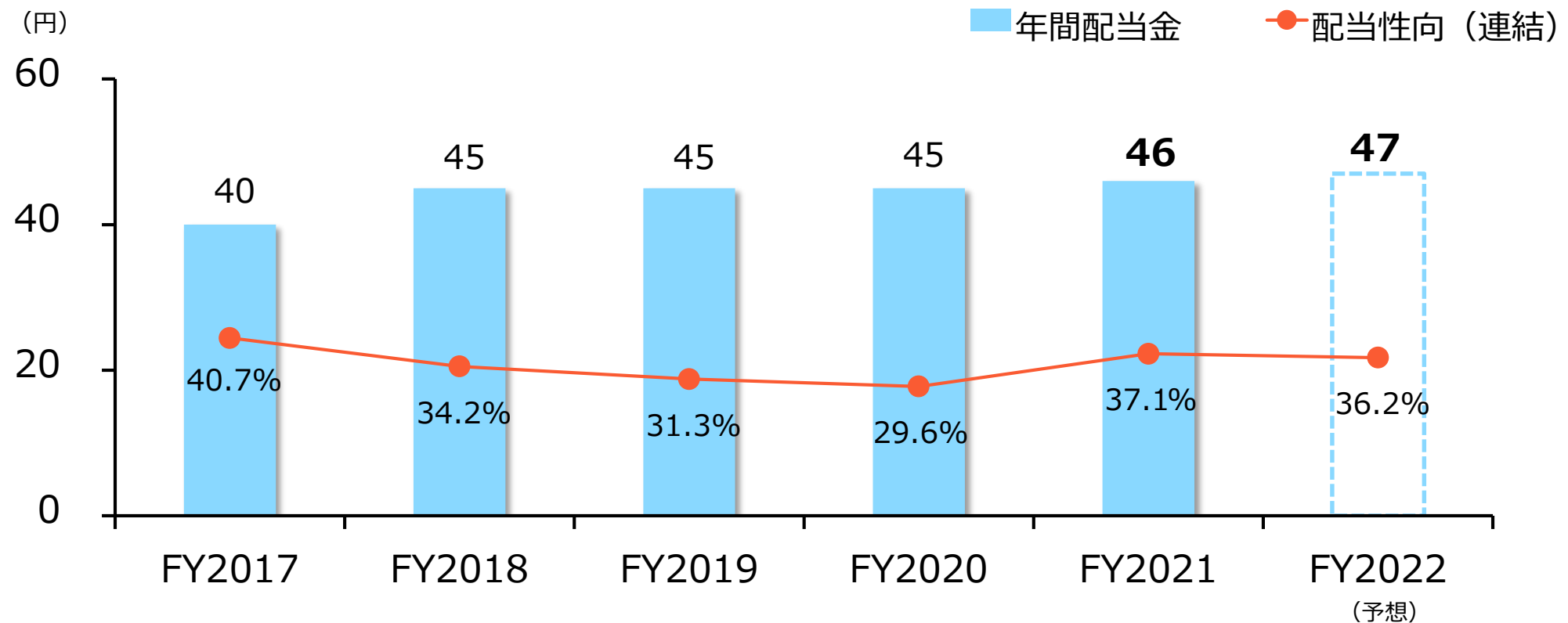
項目	FY2022 業績予想 (2022年5月13日発表)	FY2021 実績	差異	増減比 (%)
売上高	23,300	21,908	1,392	6.3
営業利益	1,550	1,499	51	3.4
経常利益	1,800	1,744	56	3.2
当期純利益 (親会社株主に帰属)	1,100	1,050	50	4.7

》 6. 株主還元施策

CHINO

- 1) 株主還元施策
- 2) 株主優待制度の新規導入

- FY2021の1株当たり配当金は1円増配の46円
- FY2022の1株当たり配当金（予想）は更に1円増配の47円
- 2016年12月から2017年5月にかけて自社株買いを120百万円（100,000株）実施
（2017年7月に自己株式の消却を300,000株実施）



株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を一層向上させ、より多くの株主様に中長期的に保有していただくことを目的に2022年3月期より株主優待制度を導入しました。

【制度の概要】

- ・ 毎年3月末現在の3単元（300株）以上保有の株主様が対象となります。
 - ・ 株主様の保有株式数に応じてポイントが贈呈され（次ページ参照）、ウェブサイト「チノー・プレミアム優待倶楽部」において、食品、電化製品等5,000種類以上の商品から交換できます。
- ※ URL：<https://chino.premium-yutaiclub.jp/pre/>

<株主優待ポイント表（1ポイント≒1円）>

保有株式数	付与されるポイント	贈呈時期
300株～399株	4,000ポイント	毎年5月
400株～499株	8,000ポイント	
500株～599株	15,000ポイント	
600株～699株	20,000ポイント	
700株～999株	25,000ポイント	
1,000株～1,999株	30,000ポイント	
2,000株～4,999株	35,000ポイント	
5,000株以上	40,000ポイント	

➤ 7. トピックス

CHINO



プライム市場の上場維持基準の適合状況（2022年3月末）

【プライム市場の上場維持基準の適合状況】

- プライム市場の上場基準の内、下記2項目（流通株式時価総額、1日平均売買代金）が未達でしたが、2022年3月末時点で自社で算定したところ基準をクリアしております。

項目	プライム市場基準	当社の数値		適合状況
		2021年6月末時点	2022年3月末時点	
流通株式時価総額	100億円	72.3億円	104.3億円	○
1日平均売買代金	20,000千円	19,843千円	35,345千円	○

➤ *Appendix*

CHINO

1) セグメント別業績	P51
2) 中計1年目の進捗	P54
3) 財務データ	P56
4) 中期経営計画	P60
5) 新製品情報	P63
6) 当社の過去10年間の株価推移	P64
7) 当社HPのご案内	P65

損益状況

売上高



7,965百万円 前期比 15.1%増



セグメント利益



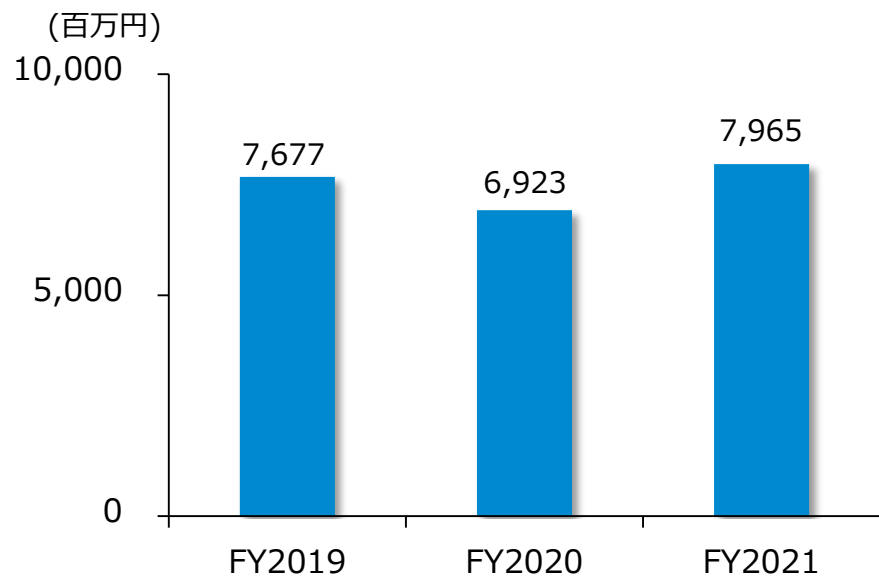
1,168百万円 前期比 31.6%増



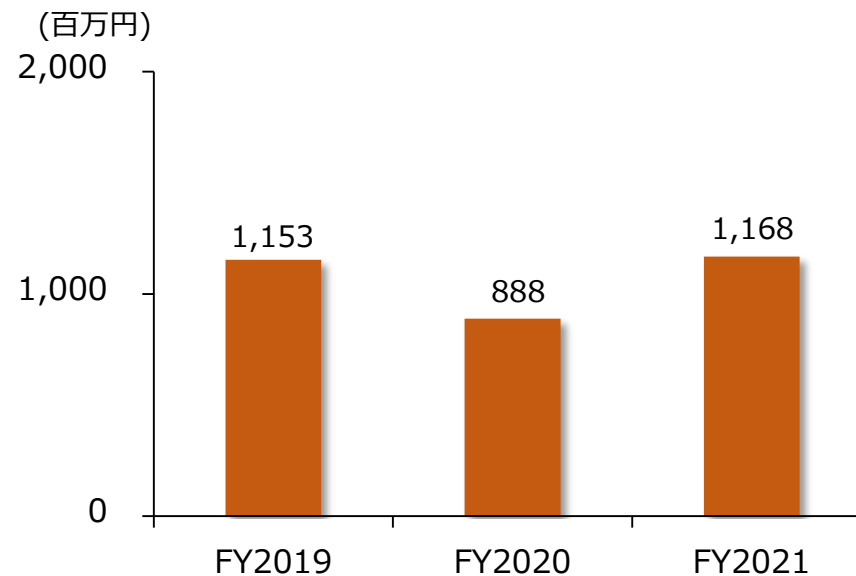
製品別状況

- 海外向け（特に中国を中心としたアジア地域）記録計の需要が伸長
- 調節計とサイリスタレギュレータは、大口顧客の売上が順調に推移

<売上高>



<セグメント利益>



損益状況

売上高



6,302百万円 前期比

6.7%減



セグメント利益



481百万円 前期比

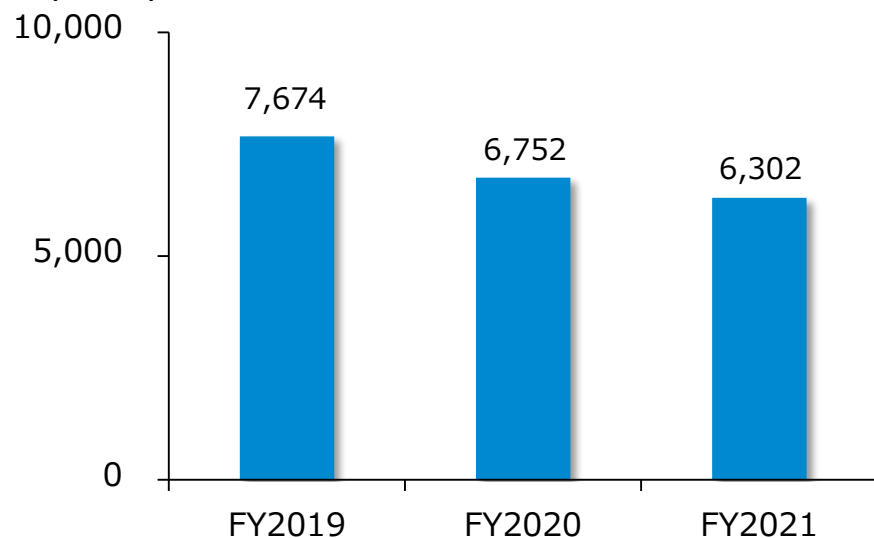
18.7%減



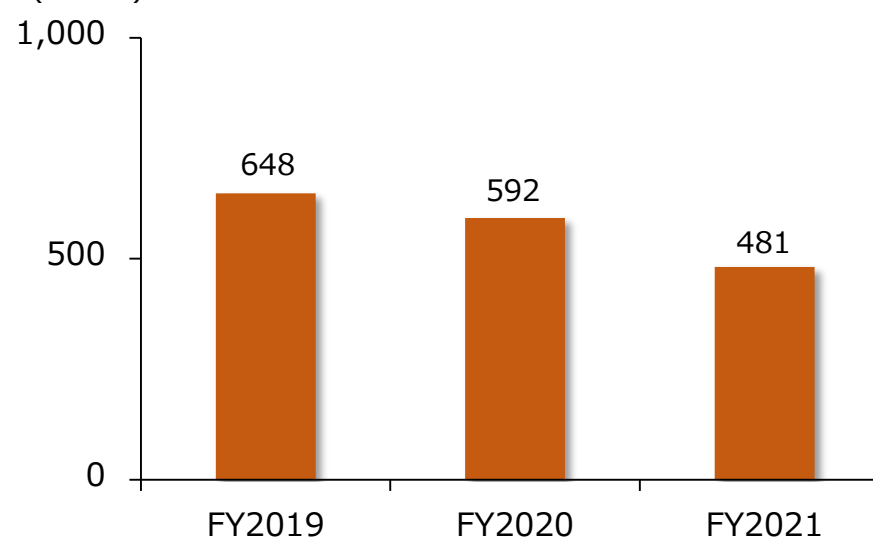
製品別状況

- 電子部品関連の製造装置向け売上が順調の一方、コンプレッサー性能試験装置は需要の低迷が継続したことにより、セグメント全体では減収減益
- 脱炭素関連として、自動車関連向け等の燃料電池評価試験装置や、水素のエネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置の需要が拡大

<売上高>
(百万円)



<セグメント利益>
(百万円)



損益状況

売上高

6,804百万円 前期比 3.7%増



セグメント利益

1,304百万円 前期比 14.6%増



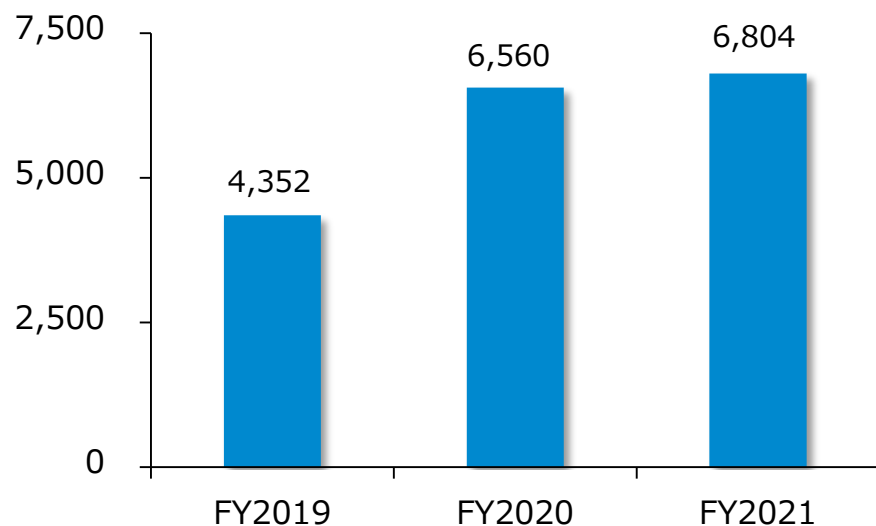
製品別状況

- 放射温度計：半導体関連の製造装置向けの需要、鉄鋼関連の設備関連が堅調
- 温度センサ：半導体関連の製造装置向け、AMS対応製品の需要が好調

※AMS：航空宇宙材料に関わる高度な規格

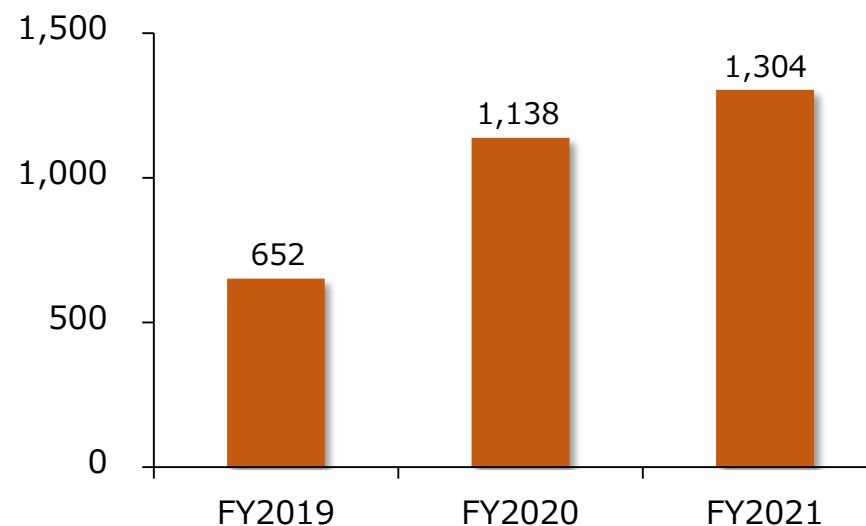
<売上高>

(百万円)



<セグメント利益>

(百万円)



中期経営計画 1年目の進捗状況 ①

●中期経営計画 当期の進捗状況（連結）

項目	2020年度 実績	2021年度 実績	2026年度 KGI
売上高	21,080 百万円	21,908 百万円	30,000 百万円
営業利益	1,136 百万円	1,499 百万円	2,700 百万円
営業利益率	5.4 %	6.8 %	9.0 %
海外売上高	3,518百万円	4,077 百万円	7,000 百万円
ROE	※ 8.1%	6.1 %	10.0%
ROA (分子は営業利益)	4.0%	4.8 %	8.0 %

※2020年度は明陽電機の子会社化により特別利益557M計上

中期経営計画 1年目の進捗状況 ②

● 4つの基本戦略と活動概要

① 成長分野の更なる開拓・拡大 Solution

- ・ 成長分野（半導体・電子部品、次世代蓄電池・新素材、モビリティ関連等）をターゲットに分野別開拓プロジェクトチームを設置し、市場ニーズの収集・分析から製品開発へと展開しています。
- ・ 脱炭素社会の実現に向けた水素利用技術支援として燃料電池／水電解評価装置や液体水素用温度センサなど、特長のある計装システム・温度計測技術を提供しました。
- ・ 今期も分野別開拓プロジェクトチーム活動を継続し、顧客の課題解決に貢献する製品開発に取り組み、市場開拓・拡大に取り組みます。

② コア事業の高度化と価値創造 Integration

- ・ 『顧客感動エンジニアリング』をスローガンに、『温度標準』、『赤外線計測』、『湿度・ガス計測』等における技術ロードマップと、それらに並行して製品・システムのロードマップの整備を進めています。
- ・ 温度校正事業の中核となるJCSS校正については、各種規制強化に伴う需要増加を見込み組織体制の強化を図りました。
- ・ 今期は、メンテナンス・サービス事業拡大のための組織体制の整備、クラウド事業の実用化に取り組みます。

③ 海外事業の基盤強化と拡大 Relationship

- ・ 国内外の営業連携を強化して、国内顧客の海外プロジェクトへ参画することでグローバルなサービス提供に取り組んでいます。
- ・ 中国・韓国を中心にアジア地域向けの製品売上を拡大するため、マーケティング機能を強化しました。
- ・ 海外グループ会社の「自立・自律」をテーマに地域別戦略を策定し、本社・海外グループ会社が一体となり推進しています。
- ・ 今期も引き続き、海外グループ会社とのリレーションシップを軸にグループ収益力を高めていきます。

④ 経営基盤の強靱化 Innovation & Speed

- ・ 人的資本の向上に向け、管理職養成プログラムやキャリア開発・ダイバーシティ&インクルージョン推進等の教育研修制度を整備・充実するとともに全社の組織開発活動を推進しました。
- ・ ICTインフラ面では、業務フローの電子化、営業・サービス活動の変革を支えるデジタルツールの導入をはじめDXの取組みを強化しました。
- ・ 指名・報酬委員会の発足、株式報酬の導入を核とする役員報酬制度の見直し、取締役会実効性評価の実施等を通じてガバナンスの高度化を図りました。

連結貸借対照表

- 資産 投資有価証券が減少する一方で、現預金・棚卸資産の増加等により、前期末比 1,146百万円の増加
- 負債 長期借入金の減少等により固定負債が減少する一方で、仕入債務の増加等による流動負債の増加により、前期末比 497百万円の増加
- 純資産 当期純利益の計上等により前期末比648百万円の増加

(百万円)

科目	2021年3月末	2022年3月末	増減
流動資産	20,299	21,681	1,382
現預金	6,991	7,331	340
売上債権	7,548	7,595	47
棚卸資産	5,526	6,578	1,051
その他	231	175	▲ 56
固定資産	10,099	9,864	▲ 235
有形固定資産	5,578	5,566	▲ 12
無形固定資産	398	408	10
投資その他の資産	4,122	3,889	▲ 233
資産合計	30,398	31,545	1,146

科目	2021年3月末	2022年3月末	増減
流動負債	7,274	8,216	941
仕入債務	3,611	4,511	900
短期借入金	1,594	1,640	46
その他	2,069	2,064	▲ 4
固定負債	3,621	3,177	▲ 443
長期借入金	995	620	▲ 375
その他	2,626	2,557	▲ 68
純資産	19,502	20,150	648
株主資本	16,398	17,308	910
その他の包括利益累計額	240	255	14
非支配株主持分	2,863	2,586	▲ 276
負債純資産合計	30,398	31,545	1,146

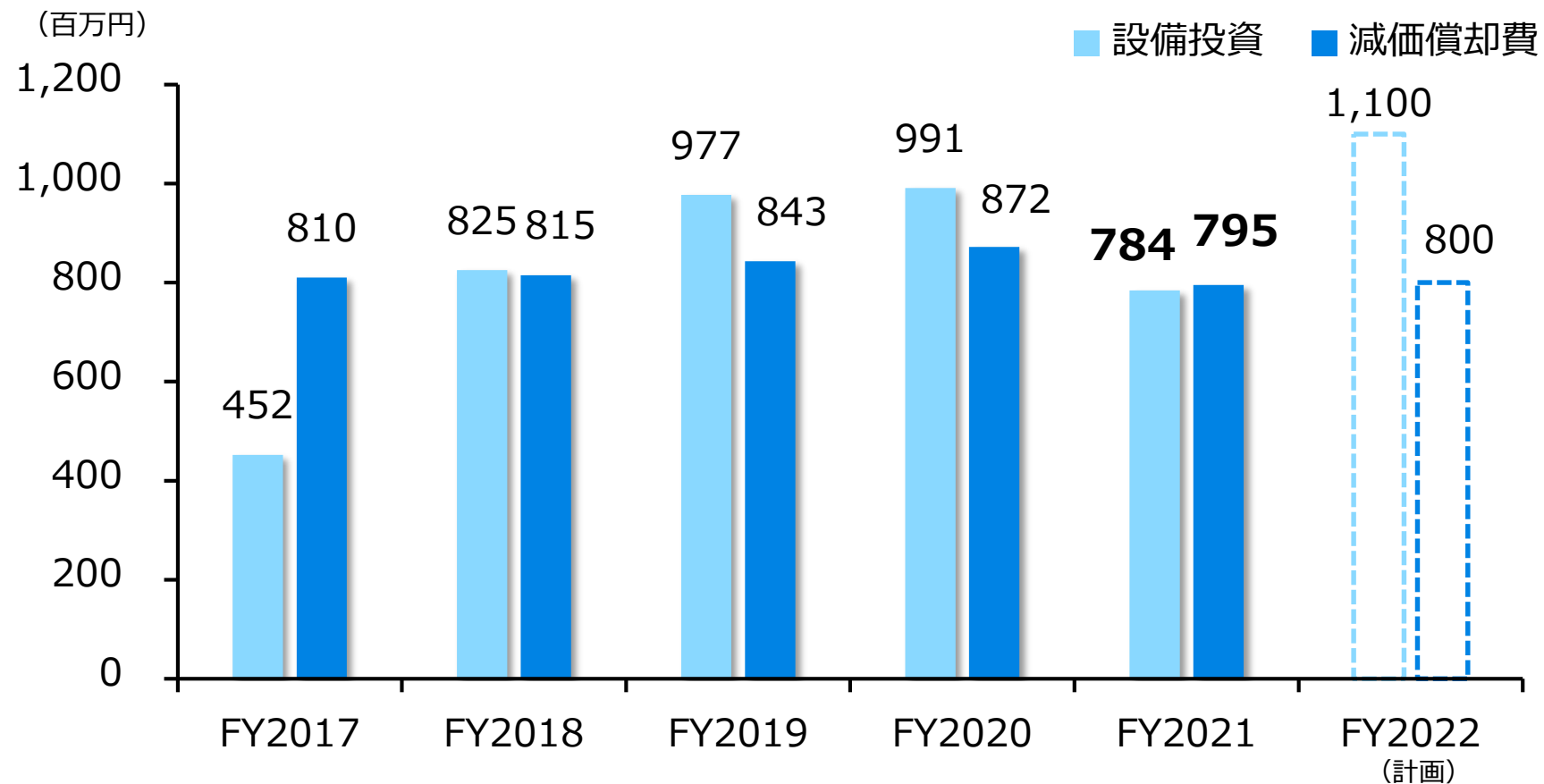
自己資本比率：2022年3月末 55.7%、2021年3月末 54.7%

設備投資／減価償却費

● 当期の設備投資は784百万円

＜主な設備投資＞

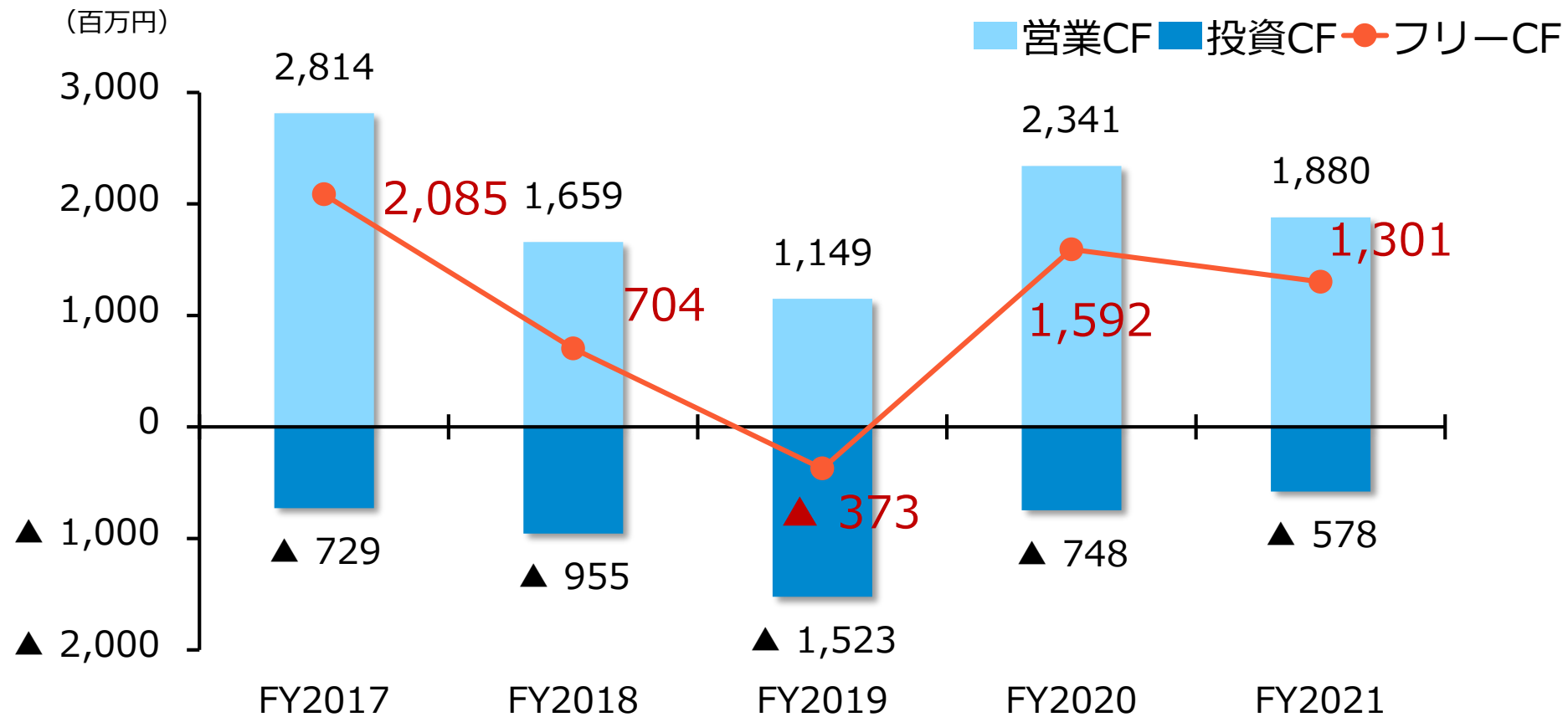
- ・ 生産効率化等投資（当社） 189百万円
- ・ 研究開発投資（当社） 146百万円
- ・ 工場用土地取得（明陽電機） 128百万円



キャッシュ・フロー

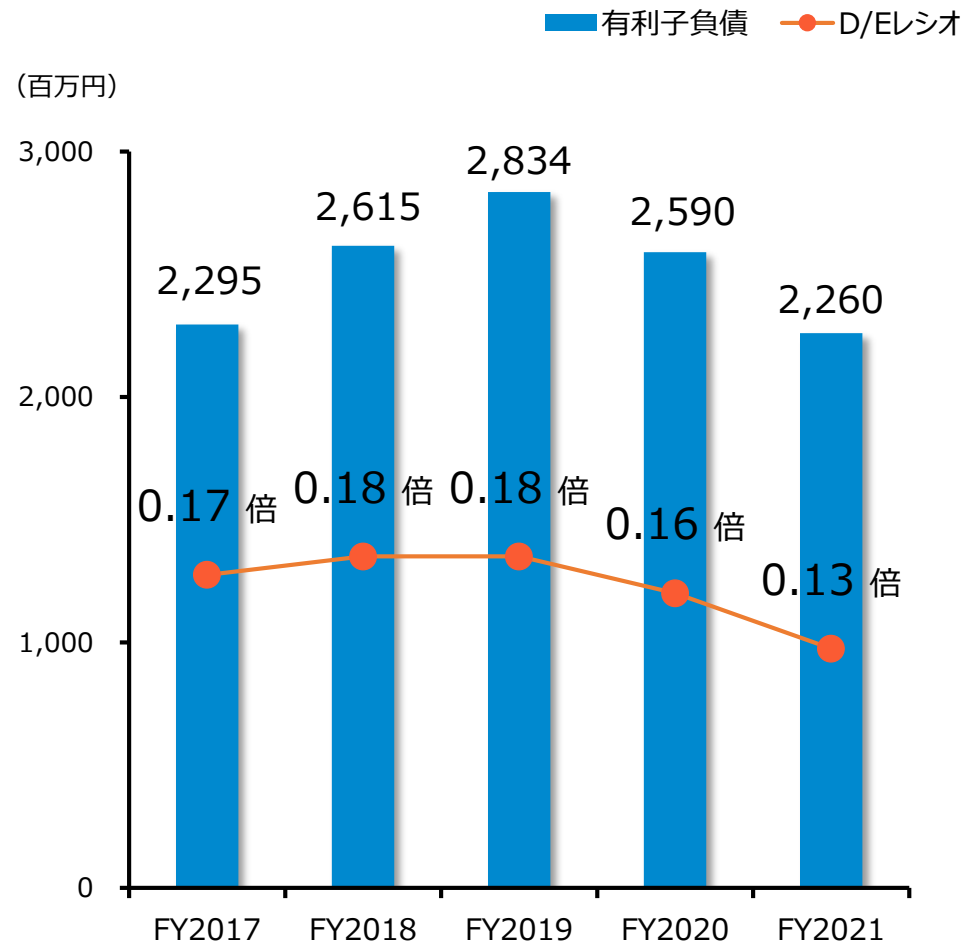
<営業CF/投資CF/フリーCF>

- 前期・当期において、営業CF20億円程度を確保
- 当期のフリーCFは約13億円

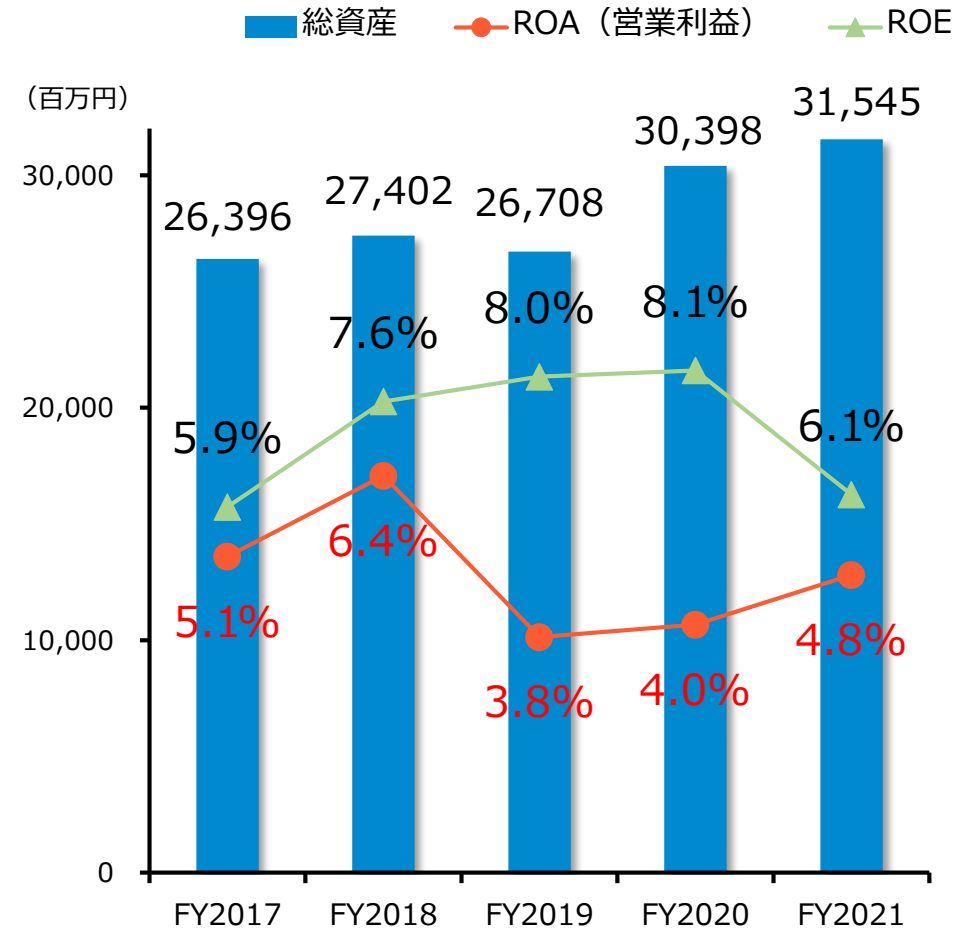


財務の状況

< 有利子負債・D/Eレシオ >

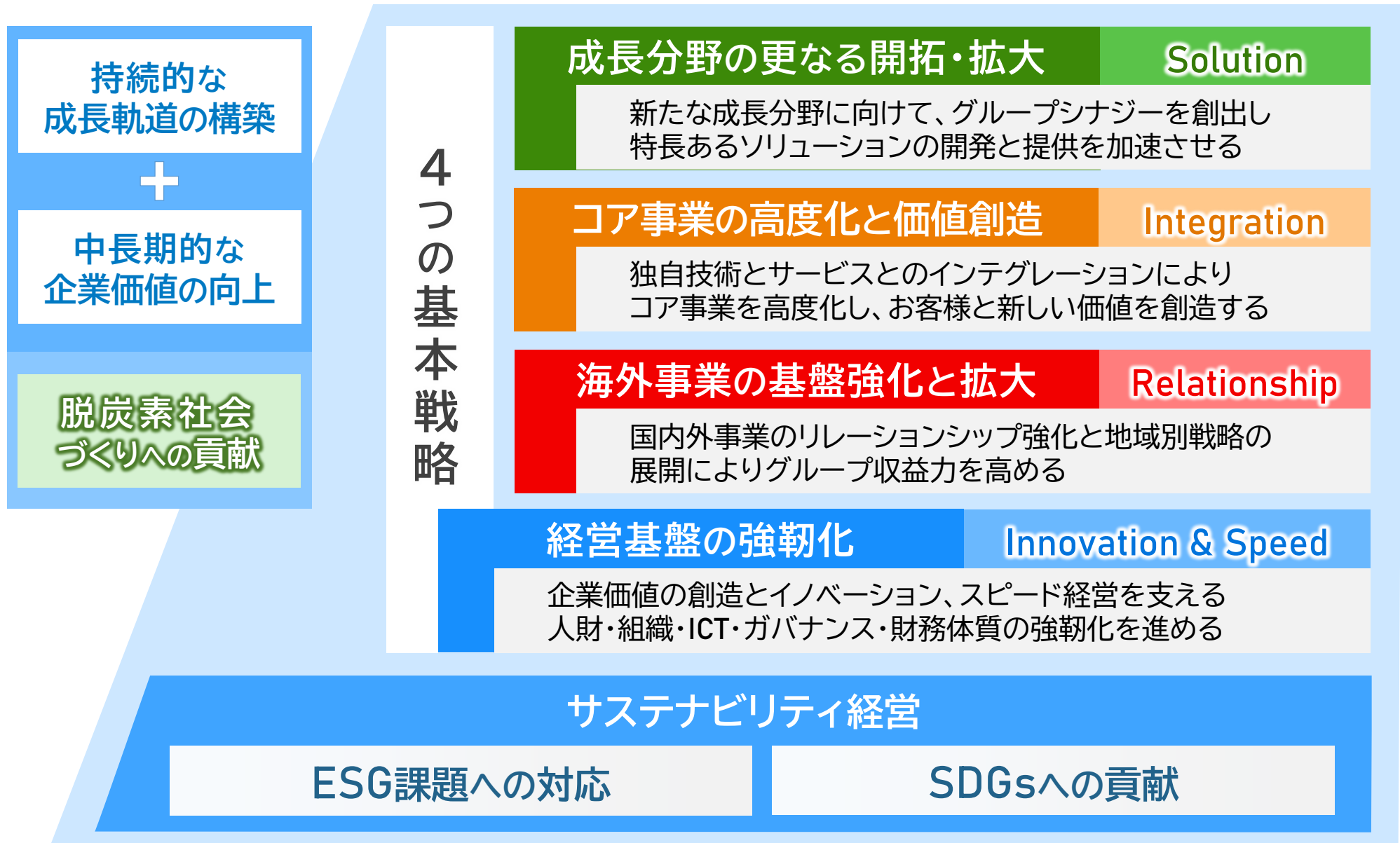


< 総資産・ROA（営業利益）・ROE >



- ✓ FY2019：明陽電機の関連会社化により営業外収入574M計上
- ✓ FY2020：明陽電機の子会社化により特別利益557M計上

中期経営計画（戦略の全体像）



中期経営計画 (サステナビリティ経営の推進 -SDGs達成への貢献-)

計測・制御・監視技術の限界に挑戦

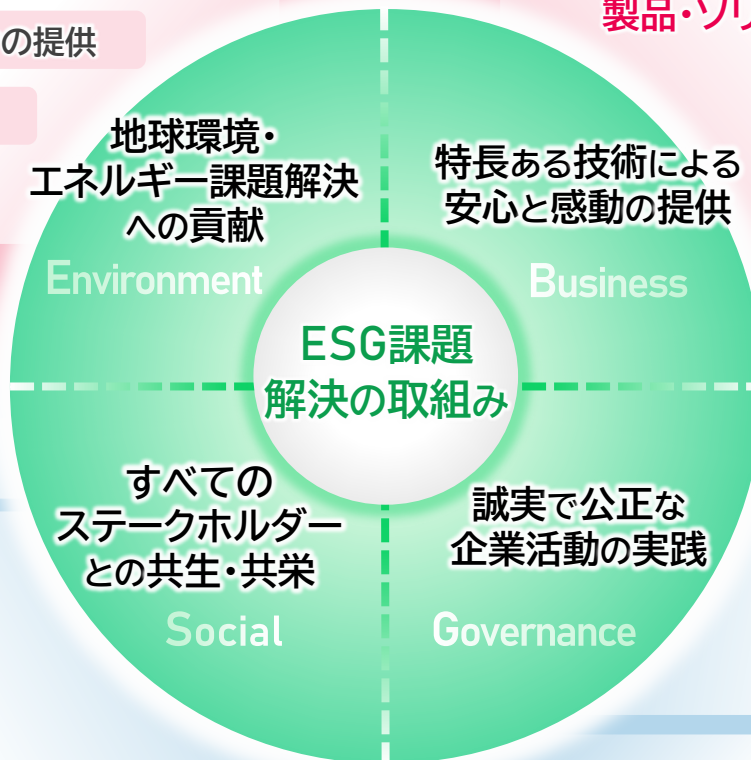
■ 脱炭素社会実現に向けた貢献

- 環境問題解決型製品・ソリューションの提供
- 温室効果ガス/CO2の排出削減
- 資源・エネルギーの効率的利用



■ UX(ユーザーエクスペリエンス)を高める製品・ソリューションの創出

- 特長ある独自技術の深耕
- 品質・安全性の確保と安定的供給
- 製品・サービスに関する適切な情報提供



■ 人権尊重への体系的な取組み

■ 魅力ある職場環境の整備

- ダイバーシティ&インクルージョン/人財育成
- 働き方改革/健康経営

■ ガバナンスの高度化

- コーポレートガバナンス体制の強化
- リスクマネジメントとコンプライアンスの徹底

■ サプライチェーンマネジメントの強化



■ ステークホルダー・エンゲージメントの充実

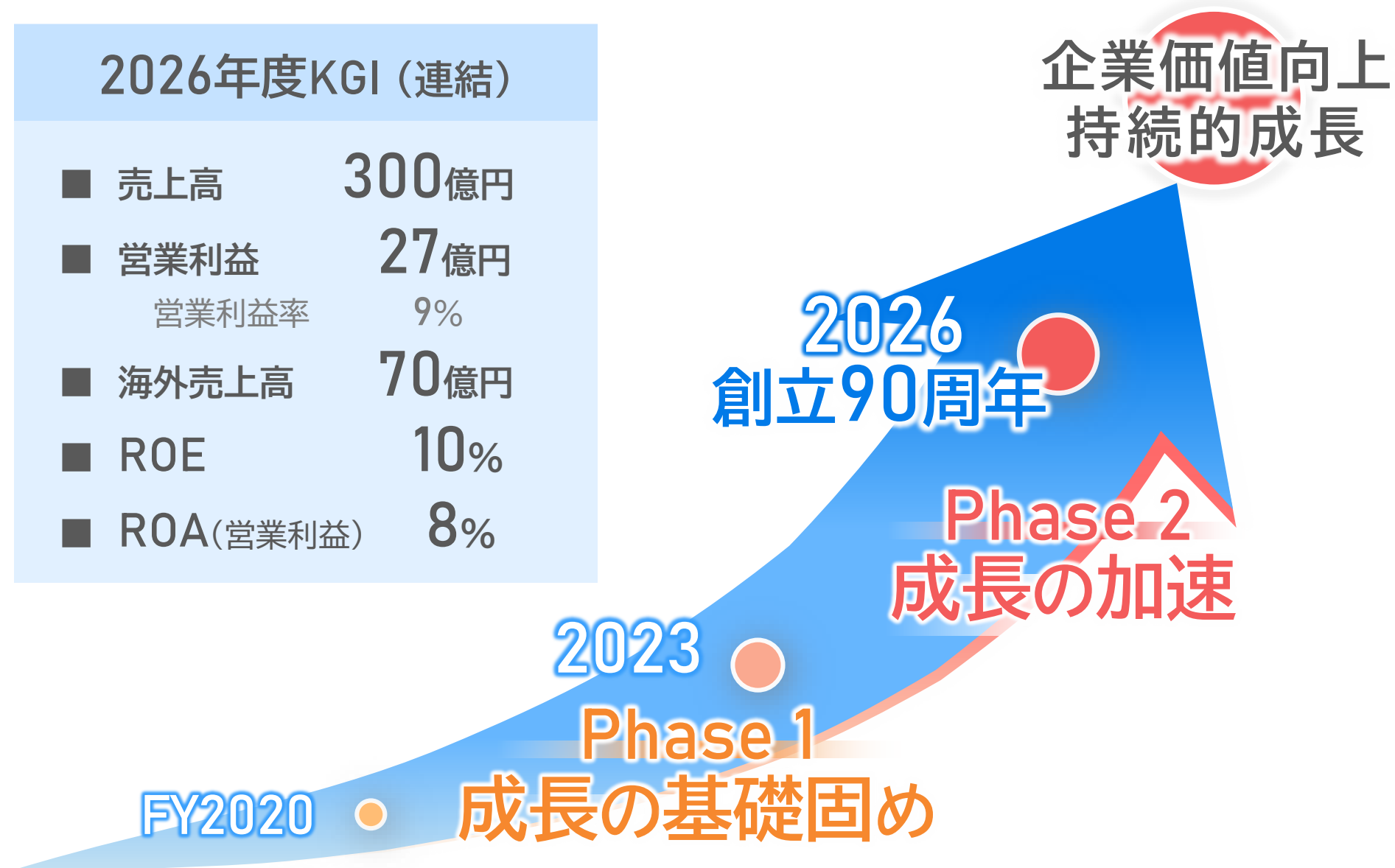


●本ページは2022年4月1日、最新の内容に更新しました。

中期経営計画（数値目標（KGI））

2026年度KGI（連結）

■ 売上高	300億円
■ 営業利益	27億円
営業利益率	9%
■ 海外売上高	70億円
■ ROE	10%
■ ROA(営業利益)	8%



～センシングの高度化とIoT化への機種展開～

走査放射温度計 (IR-NA シリーズ) を発売

2021年12月3日に、高速 (150Hzの走査速度) ・高解像度 (4,096画素) で温度分布を微細に捉える 走査放射温度計IR-NAシリーズを発売しました。

特長

- ・高速移動物体への温度計測の追従が可能
- ・微細な温度分布データの取得が可能
- ・Webサーバ機能があり、リアルタイムでリモート監視が可能

導入例

鉄鋼・自動車の業界等で、高付加価値鋼板の生産・加工プロセス等での温度管理にご活用いただいております。



当社（証券コード：6850）の過去10年間の株価推移



株価 <small>(2022年6月30日時点)</small>	1,659円	時価総額 <small>(2022年6月30日時点)</small>	154億円	証券コード: 6850	
10年来高値	1,920円	PER 予想 <small>※1</small>	12.77倍		<small>※1 PER(予想)は、2022年6月30日の終値及び通期の業績予想における1株当たり当期純利益を用いて算出しております。</small>
10年来安値	890円	PBR 実績 <small>※2</small>	0.8倍		<small>※2 PBRは、2022年6月30日の終値及び1株当たりの純資産を用いて算出しております。</small>

当社ホームページのご案内



当社ではホームページにて企業情報を掲載しています。
当社の事業紹介、サステナビリティに対する取り組みのほか、トピックスやIR情報も随時開示しております。
どうぞお気軽にアクセスしてみてください。

URL: <https://www.chino.co.jp/>



NEWS

お知らせ

一覧を見る

2022.06.20	IR情報	招集通知記載事項の一部訂正についてを掲載致しました。
2022.06.14	展示会情報	第24回インターフェックスジャパンに出展致します。
2022.06.14	IR情報	決算説明会（2022年3月期）の資料を掲載致しました。
2022.06.13	サポート技術情報	ISO18436-7機械状態監視診断新技術者（サーモグラフィ）の赤外線診断新技術者訓練コース（カテゴリー1）を開催致します。
2022.06.10	IR情報	第86回定時株主総会招集ご通知を掲載致しました。
2022.06.10	IR情報	第86回定時株主総会招集ご通知に際しての法令および定款に基づくインターネット開示事項を掲載致しました。
2022.06.10	IR情報	招集通知記載事項（書面）の一部訂正についてを掲載致しました。
2022.06.09	IR情報	定款の一部変更に関するお知らせを掲載致しました。

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

CHINO